

名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物

名古屋市版レッドリスト 2020

2020年

名古屋市

1. 調査の概要

(1) 調査体制

調査の実施に当たっては、平成 29 年度から「名古屋市動植物実態調査にかかる専門家会合」、において、調査および検討を進めた。

委員は担当分類群について協力者と連絡をとりながら情報を収集するとともに、専門家会合において調査・作業状況を報告し、意見交換した。

専門家会合の構成は表 1 のとおりである。

表 1 名古屋市動植物実態調査にかかる専門家会合の構成

委 員	担 当 分 類 群
芹沢 俊介 (愛知教育大学名誉教授)	種子植物
鳥居ちよ子 (愛知植物の会会員)	種子植物
村松 正雄 (愛知植物の会会員)	シダ植物
成田 務 (新城市鳳来寺山自然科学博物館学術委員)	コケ植物
野呂 達也 (金城学院大学非常勤講師)	哺乳類
金澤 智 (日本野鳥の会会員) (名古屋市立大学大学院医学研究科学内講師)	鳥 類
矢部 隆 (愛知学泉大学現代マネジメント学部教授)	は虫類
藤谷 武史 (名古屋市緑政土木局職員)	両生類
谷口 義則 (名城大学人間学部人間学科 教授)	魚 類
戸田 尚希 (名城大学農学部昆虫学研究室研究員)	昆虫類
緒方 清人 (日本蜘蛛学会会員)	クモ類
天野 勲 (日本甲殻類学会会員)	カニ類
中嶋 清徳 (名古屋港水族館飼育展示第一課長)	カニ類
川瀬 基弘 (東海化石研究会会員)	貝 類

また、株式会社テクノ中部が、検討結果のとりまとめおよび連絡調整を行った。

(2) 調査対象

① 哺乳類

哺乳類の種を単位とし、標本あるいは文献等により、名古屋市に確実に生息している（いた）と判断された種のうち、人為的に移入された種及び一過性の確認種を除く種を調査対象とした。調査対象範囲は、名古屋市内の陸上及び陸水中とした。また、干潟、河口部も含むものとした。

② 鳥類

鳥類の種を単位とし、文献、調査記録等により、名古屋市に確実に生息している（いた）と判断された種のうち、人為的に移入された種及び不定期または偶発的に記録される種を除く種を調査対象とした。

調査対象範囲は、名古屋市内の陸上及び陸水中とした。また、沿岸の浅海域、干潟、河口部も含むものとした。

③ は虫類

は虫類の種を単位とし、標本あるいは文献等により、名古屋市に確実に生息している（いた）と判断された種のうち、人為的に移入された種を除く種を調査対象とした。

調査対象範囲は、名古屋市内の陸上及び陸水中とした。

④ 両生類

両生類の種を単位とし、標本あるいは文献等により、名古屋市に確実に生息している（いた）と判断された種のうち、人為的に移入された種を除く種を調査対象とした。

調査対象範囲は、名古屋市内の陸上及び陸水中とした。

⑤ 魚類

魚類の種を単位とし、標本あるいは文献等により、名古屋市に確実に生息している（いた）と判断された種のうち、人為的に移入された種を除く種を調査対象とした。

調査対象範囲は、名古屋市内の陸水中（河川、池沼等）とした。また、汽水域に生息する種も対象とするため河口部も含めた。

⑥ 昆虫類

昆虫類の種を単位とし、標本あるいは文献等により、名古屋市に確実に生息している（いた）と判断された種のうち、人為的に移入された種及び一過性の確認種を除く種を調査対象とした。調査対象範囲は、名古屋市内の陸上及び陸水中とした。また、干潟、河口部も含むものとした。

⑦ クモ類

クモ類の種を単位とし、標本あるいは文献等により、名古屋市に確実に生息している（いた）と判断された種のうち、人為的に移入された種を除く種を調査対象とした。

調査対象範囲は、名古屋市内の陸上及び陸水中とした。また、河口部も含むものとした。

⑧ カニ類

カニ類の種を単位とし、標本あるいは文献等により、名古屋市に確実に生息している（いた）と判断された種のうち、人為的に移入された種を除く種を調査対象とした。

調査対象範囲は、名古屋市内の陸上及び陸水中とした。また、沿岸の浅海域、干潟、河口部も含むものとした。

⑨ 貝類

貝類の種を単位とし、標本あるいは文献等により、名古屋市に確実に生息している（いた）と判断された種のうち、人為的に移入された種を除く種を調査対象とした。

調査対象範囲は、名古屋市内の陸上及び陸水中とした。また、干潟、河口部も含むものとした。

(3) 調査方法

調査は、平成 29 年度から令和元年度にかけて、各分類群毎に以下の方法により実施した。

① 哺乳類

調査対象種について、文献調査、現地調査により生息状況の把握を行った。

- ・文献調査

既存文献を収集し、生息場所、確認時期等を調査した。

- ・現地調査

現地踏査を行い、生息状況を調査するとともに、必要に応じて文献調査で把握した既知産地の現状についても調査した。

② 鳥類

調査対象種について、文献調査により生息状況の把握を行った。

- ・文献調査

既存文献を収集し、生息場所、確認時期、個体数等の整理を行った。

③ は虫類

調査対象種について、文献調査と現地調査により生息状況の把握を行った。

- ・文献調査

既存文献を収集し、生息場所、確認時期等を調査した。

- ・現地調査

現地踏査を行い、生息状況を調査するとともに、必要に応じて文献調査で把握した既知産地の現状についても調査した。

④ 両生類

調査対象種について、文献調査と現地調査により生息状況の把握を行った。

- ・文献調査

既存文献を収集し、生息場所、確認時期等を調査した。

- ・現地調査

現地踏査を行い、生息状況を調査するとともに、必要に応じて文献調査で把握した既知産地の現状についても調査した。

⑤ 魚類

調査対象種について、文献調査により生息状況の把握を行った。

- ・文献調査

既存文献を収集し、生息場所、確認時期等を調査した。

- ・現地調査

現地踏査を行い、生息状況を調査するとともに、必要に応じて文献調査で把握した既知産地の現状についても調査した。

⑥ 昆虫類

調査対象種について、文献調査と現地調査により生息状況の把握を行った。

- ・文献調査

既存文献を収集し、生息場所、確認時期等を調査した。

- ・現地調査

現地踏査を行い、生息状況を調査するとともに、必要に応じて文献調査で把握した既知産地の現状についても調査した。

⑦ クモ類

調査対象種について、文献調査と現地調査により生息状況の把握を行った。

- ・文献調査

既存文献を収集し、生息場所、確認時期等を調査した。

- ・現地調査

現地踏査を行い、生息状況を調査するとともに、必要に応じて文献調査で把握した既知産地の現状についても調査した。

⑧ カニ類

調査対象種について、文献調査と現地調査により生息状況の把握を行った。

- ・文献調査

既存文献を収集し、生息場所、確認時期等を調査した。

- ・現地調査

現地踏査を行い、生息状況を調査するとともに、必要に応じて文献調査で把握した既知産地の現状についても調査した。

⑨ 貝類

調査対象種について、文献調査と現地調査により生息状況の把握を行った。

- ・文献調査

既存文献を収集し、生息場所、確認時期等を調査した。

- ・現地調査

現地踏査を行い、生息状況を調査するとともに、必要に応じて文献調査で把握した既知産地の現状についても調査した。

(4) レッドリストの判定基準

各調査対象種の絶滅のおそれの程度について、調査結果をもとに表2に示す評価区分基準に従い判定し、レッドリスト掲載種の選定及び評価を行った。

「絶滅」の評価については、「過去に確実に生息していた種」と判断する文献や標本の整備状況及び移動能力が各分類群毎に異なることから、表3に示す要件により判定した。なお、評価区分のうち野生絶滅は、原産地や遺伝的混乱の防止体制に疑問があると思われる場合もあり、また個人的に管理されているものもすべて確認することも困難であると判断されたので、今回のレッドリストでは絶滅とあわせ、絶滅・野生絶滅として扱うこととした（ただし、表記上は絶滅（EX）とした）。

上記の要件を勘案し、各調査対象種について収集された情報をもとに、名古屋市内の分布の状況等を勘案して総合的に判断・評価を行い、定性的要件に従い絶滅のおそれの程度を判定した。

判定の結果は、名古屋市版レッドリスト（動物編）としてとりまとめ、2020年4月に公表（以下「2020年版レッドリスト」という。）した。また、レッドリストの精度の充実を図るため、市民からの情報及び意見の収集を行い、これらを勘案し、最終的な判定を行った。

表 2—1 名古屋市版レッドリスト 2020（動物編）の категория（ランク）

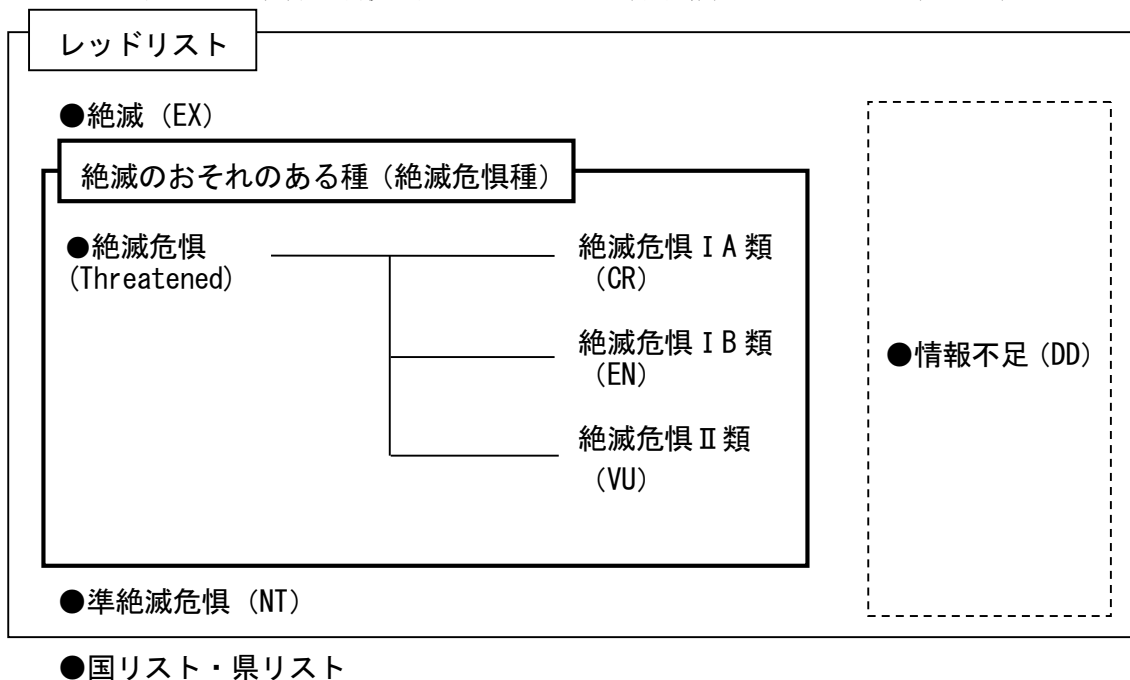


表 2—2 名古屋市版レッドリスト 2020（動物編）に用いたカテゴリー（ランク）と判断基準表

区分及び基本概念	定性的要件			
<p>絶滅 Extinct (EX)</p> <p>・ 野生絶滅 Extinct in the Wild (EW)</p>	<p>名古屋市ではすでに絶滅したと考えられる種。 野生では絶滅し、飼育下等でのみ存続している種。</p>	<p>過去に名古屋市に生息したことが確認されており、市内において少なくとも本来の自然生息地ではすでに絶滅したと考えられる種（飼育下等では存続している種を含む）。</p> <p>【確実な情報があるもの】</p> <p>1 信頼できる調査や記録により、すでに野生で絶滅したことが確認されている。</p> <p>2 信頼できる複数の調査によっても、生息が確認できなかった。</p> <p>【情報量が少ないもの】</p> <p>3 過去50年間前後の間に、信頼できる生息の情報が得られていない。</p>		
<p>絶滅危惧 I 類 Critically Endangered + Endangered (CR+EN)</p>	<p>絶滅の危機に瀕している種。 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。</p>	<p>次のいずれかに該当する種。</p> <p>【確実な情報があるもの】</p> <p>1 既知のすべての個体群で、危機的水準にまで減少している。</p> <p>2 既知のすべての生息地で、生息条件が著しく悪化している。</p> <p>3 既知のすべての個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。</p> <p>4 ほとんどの分布域に交雑のおそれのある別種が侵入している。</p> <p>【情報量が少ないもの】</p> <p>5 それほど遠くない過去（30年～50年）の生息記録以後確認情報がなく、その後信頼すべき調査が行われていないため、絶滅したかどうかの判断が困難なもの。</p>	<p>絶滅危惧 I A 類 (CR)</p>	<p>ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。</p>
<p>絶滅危惧 I B 類 (EN)</p>			<p>絶滅危惧 I B 類 (EN)</p>	<p>I A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。</p>
<p>絶滅危惧 II 類 Vulnerable (VU)</p>	<p>絶滅の危険が増大している種。 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧 I 類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。</p>	<p>次のいずれかに該当する種</p> <p>【確実な情報があるもの】</p> <p>1 大部分の個体群で個体数が大幅に減少している。</p> <p>2 大部分の生息地で生息条件が明らかに悪化しつつある。</p> <p>3 大部分の個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。</p> <p>4 分布域の相当部分に交雑可能な別種が侵入している。</p>		
<p>準絶滅危惧 Near Threatened (NT)*</p>	<p>存続基盤が脆弱な種。 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧 I 類」として上位ランクに移行する要素を有するもの。</p>	<p>次に該当する種。</p> <p>生息状況の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっていると判断されるもの。具体的には、分布域の一部において、次のいずれかの傾向が顕著であり、今後さらに進行するおそれがあるもの。</p> <p>1 個体数が減少している。</p> <p>2 生息条件が悪化している。</p> <p>3 過度の捕獲・採取圧による圧迫を受けている。</p> <p>4 交雑可能な別種が侵入している。</p>		
<p>情報不足 Data Deficient (DD)</p>	<p>評価するだけの情報が不足している種。</p>	<p>環境情報の変化によって、容易に絶滅危惧のカテゴリーに移行し得る属性（具体的には、次のいずれかの要素）を有しているが、生息状況をはじめとして、ランクを判定するに足る情報が得られていない種。あるいは確認例が極めて少なく、希少であるか否かも不明な種。</p> <p>1 どの生息地においても生息密度が低く希少である。</p> <p>2 生息地が局限されている。</p> <p>3 生物地理上、孤立した分布特性を有する（分布域がごく限られた固有種等）。</p> <p>4 生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要としている。</p>		
<p>地域個体群 Threatened Local Population (LP)</p>	<p>地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。</p>	<p>次のいずれかに該当する地域個体群</p> <p>1 生息状況、学術的価値等の観点から、レッドリスト掲載種に準じて扱うべきと判断される種の地域個体群で、生息域が孤立しており、地域レベルで見た場合絶滅に瀕しているかその危険が増大していると判断されるもの。</p> <p>2 地方型としての特徴を有し、生物地理学的観点からみて重要と判断される地域個体群で絶滅に瀕しているか、その危険が増大していると判断されるもの。</p>		

国・県リスト	環境省レッドリスト（2020）または愛知県レッドリスト（2020）に記載されているが、名古屋市において上記の要件に該当しない種。
--------	--

表 3 過去の生息種の要件

分類群	内 容
哺乳類	標本等の確実な生息記録がある種。
鳥類	継続（経年的）確認記録がある種。ただし、迷行的に記録される種など一過性の種は除外。 なお、隣接する市町村での生息状況も加味。
は虫類	標本等の確実な生息記録がある種。
両生類	標本等の確実な生息記録がある種。
魚類	標本等の確実な生息記録がある種。
昆虫類	標本等の確実な生息記録がある種。なお、隣接する市町村での生息状況も加味。
クモ類	標本等の確実な生息記録がある種。ただし、調査記録は昭和 35 年以降。
カニ類	標本等の確実な生息記録がある種。
貝類	標本等の確実な生息記録がある種。

(5) レッドリストの判定基準

名古屋市版レッドリスト（動物編）に掲載した種数は、表4のとおりであり、各リストは以下に示した。

絶滅のおそれのある種（絶滅危惧Ⅰ類及びⅡ類）の数は216種であり、その内訳は哺乳類17種、鳥類24種、は虫類6種、両生類8種、魚類22種、昆虫類67種、クモ類18種、カニ類6種、及び貝類48種となっている。

現時点での絶滅危険度は小さいものの、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」種に移行する要素を有する種（準絶滅危惧）は129種であり、その内訳は哺乳類1種、鳥類21種、は虫類1種、魚類5種、昆虫類57種、クモ類9種、カニ類4種、及び貝類31種となっている。

市内では絶滅した種（絶滅・野生絶滅）は33種であり、その内訳は哺乳類1種、昆虫類22種及び貝類10種となっている。

絶滅のおそれの程度を評価するに足る情報が不足している種（情報不足）は40種であり、その内訳は哺乳類1種、鳥類3種、は虫類3種、両生類1種、魚類6種、昆虫類18種、クモ類3種、及び貝類5種となっている。

地域個体群の評価となった数は魚類の1種となっている。

表4 名古屋市版レッドリスト（動物編）掲載種数

評価区分 対象	絶滅 (EX)	絶滅のおそれのある種				準絶滅 危惧 (NT)	情報 不足 (DD)	地域 個体群 (LP)	計	参考	
		絶滅 危惧 ⅠA類 (CR)	絶滅 危惧 ⅠB類 (EN)	絶滅 危惧 Ⅱ類 (VU)	小計					国・県 リスト	リスト外
哺乳類	1	11	4	2	17	1	1	0	20	0	3
鳥類	0	2	7	15	24	21	3	0	48	1	0
は虫類	0	0	2	4	6	1	3	0	10	0	0
両生類	0	7	0	1	8	0	1	0	9	0	0
魚類	0	8	8	6	22	5	6	1	34	0	0
昆虫類	22	26	19	22	67	57	18	0	164	1	1
クモ類	0	7	3	8	18	9	3	0	30	0	0
カニ類	0	0	2	4	6	4	0	0	10	0	0
貝類	10	26	9	13	48	31	5	0	94	1	0
合計	33	87	54	75	216	129	40	1	419	3	4

4. 文献一覧

本書巻末の名古屋市産野生動物目録作製に使用した文献も含めた。

(1) 総論

- ・阿江 茂, 1983. 昆虫分布調査報告書, iii+62pp. 愛知県農地林務部.
- ・安藤威夫ほか, 1967. 愛知の動物, iv+222pp. 愛知県科学教育センター.
- ・安藤 尚, 1979. 第2回自然環境保全基礎調査, 動物分布調査報告書(昆虫類), 愛知県, i+93pp. 環境庁.
- ・朝比奈正二郎(編), 1993. 滅びゆく日本の昆虫 50種, ix+183pp. 築地書館, 東京.
- ・中部河川研究会(編), 1983. 名古屋城外堀生物調査報告書, iii+59pp. 名古屋城管理事務所.
- ・広 正義, 1981. 名古屋市内河川の水質と生物, 名古屋市内河川生物調査報告書. iv+152pp. 名古屋市公害対策局.
- ・井波一雄他, 1965. 名古屋の自然, 178pp. 六月社, 大阪.
- ・環境庁(編), 1991. 日本の絶滅のおそれのある野生生物、レッドデータブック(脊椎動物編), 331+ipp. 日本野生生物研究センター, 東京.
- ・環境庁編, 1991. 日本の絶滅のおそれのある野生生物、レッドデータブック(無脊椎動物編), 271+ipp. 日本野生生物研究センター, 東京.
- ・倉内一二ほか, 1984. 愛知県の自然環境, viii+278pp. 愛知県自然保護課.
- ・名古屋市逢左文庫(編), 1982. 名古屋叢書三編. 中部日本自然科学調査団報告(3), 33pp.
- ・野田米太郎(編), 1959. 名古屋, 尾張北東部の自然, Iv+152pp. 名古屋市公害対策局.
- ・落合圭次ほか, 1989. 保全を要する自然環境要素分布調査報告書(自然環境保全基礎調査), i+v+151pp. 愛知県自然保護課.
- ・佐藤正孝, 1990. 昆虫研究者からみた環境行政, 自然保護と昆虫研究者の役割講演論文集. 日本昆虫学会第50回大会特別集会, pp.33-36.
- ・上野俊一(編), 1993. 滅びゆく日本の動物 50種, ix+195pp. 築地書館, 東京.
- ・白田明正, 1989. なごやの昆虫, 171pp. 名古屋昆虫館.

(2) 哺乳類

- ・阿部 永, 2007. 増補版日本産哺乳類頭骨図説, 290pp. 北海道大学出版会, 札幌.
- ・愛知学院大学歯学部第二解剖学教室, 1985. 小哺乳類の採集記録第1集(1978~1984年), 67pp. 愛知学院大学歯学部第二解剖学教室.
- ・愛知県環境部自然環境課, 2012. 特定鳥獣保護管理計画(イノシシ), 31pp. 愛知県環境部自然環境課.
- ・愛知県環境部自然環境課, 2012. 特定鳥獣保護管理計画(カモシカ), 36pp. 愛知県環境部自然環境課.
- ・愛知県環境部自然環境課, 2012. 特定鳥獣保護管理計画(ニホンザル), 34pp. 愛知県環境部自然環境課.
- ・愛知県環境部自然環境課, 2012. 特定鳥獣保護管理計画(ニホンジカ), 33pp. 愛知県環境部自然環境課.
- ・愛知県環境調査センター(編), 2009. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物レッドデータブックあいち2009動物編, 651pp. 愛知県環境部自然環境課.
- ・荒井秋晴, 2003. 久住高原におけるテン *Martes melampus* の食性. 哺乳類科学, 43(1): 19-28.
- ・千葉徳爾, 1995. オオカミはなぜ消えたか - 日本人と獣の話 -, 279pp. 新人物往来社, 東京.
- ・千々岩哲, 2006. 川辺林と残存林がホンドタヌキ (*Nyctereutes procyonoides viverrinus*) の行動圏利用に果たす役割. 矢作川研究, (10): 85-96.
- ・船越公威・前田史和・佐藤美穂子・小野宏治, 1999. 宮崎県枇榔島に生息するオヒキコウモリ *Tadarida insignis* のねぐら場所、個体群構成および活動について. 哺乳類科学, 39(1): 23-33.
- ・船越公威, 2010. 九州産食虫性コウモリ類の超音波音声による種判別の試み. 哺乳類科学, 50(2): 165-175.
- ・長谷川修平・大池辰也・浅井康行・村上勝志, 2014. ストランディング記録からみた伊勢湾・三河湾のスナメリについて. 海洋と生物, 36(2): 135-141.
- ・島佐代子, 2014. カヤネズミの本, 106pp. 世界思想社, 京都.
- ・畑瀬 淳, 2000. 広島のおヒキコウモリ. 広島市の生物 - まもりたい生命の営み -, pp.158. 広島市環境局環境企画課, 広島.
- ・平岩米吉, 1981. 狼 - その生態と歴史 -, 308pp. 池田書店, 東京.
- ・環境省(編), 2014. レッドデータブック2014-1哺乳類-, 132pp. ぎょうせい, 東京.
- ・川口 敏, 2006. 香川県産 *Mustela* 属 2種の事故死体の同定と分布. 哺乳類科学, 46(1): 35-39.
- ・コウモリの会(編), 2011. コウモリ識別ハンドブック改訂版, 88pp. 文一総合出版, 東京.
- ・宮尾嶽雄・花村 肇・高田靖司・酒井英一, 1984. 哺乳類. 愛知の動物(佐藤正孝・安藤尚編), pp.286-325. 愛知県郷土資料刊行会, 名古屋.
- ・名古屋市, 2010. 名古屋のみどり-緑の現況調査報告書-デジタルマッピング手法による緑被調査, 212pp. 名古屋市緑政土木局緑地部緑化推進課.
- ・名古屋市動植物実態調査検討会(監), 2004. 名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物レッドデータブックなごや2004動物編, 368pp. 名古屋市環境局環境都市推進部環境影響評価室.

- ・名古屋市動植物実態調査検討会（監），2010. 名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物レッドデータブックなごや 2010-2004 年版補遺-，316pp. 名古屋市環境局環境都市推進部生物多様性企画室.
- ・名古屋市動植物実態調査検討会（監），2010. 生き物から見た名古屋の自然-なごやの環境指標種 100（改訂版）-，160pp. 財団法人 三菱 UFJ 環境財団，東京.
- ・名古屋市教育委員会（編），1964. 名古屋叢書統編第 1 巻，432pp. 名古屋市教育委員会.
- ・名古屋市教育委員会（編），1965. 名古屋叢書統編第 9 巻，416pp. 名古屋市教育委員会.
- ・名古屋市教育委員会（編），1966. 名古屋叢書統編第 3 巻，447pp. 名古屋市教育委員会.
- ・名古屋市教育委員会（編），1966. 名古屋叢書統編第 10 巻，552pp. 名古屋市教育委員会.
- ・名古屋市教育委員会（編），1968. 名古屋叢書統編第 11 巻，657pp. 名古屋市教育委員会.
- ・名古屋市教育委員会（編），1969. 名古屋叢書統編第 12 巻，741pp. 名古屋市教育委員会.
- ・名古屋ため池調査実行委員会，2007. 名古屋・東山新池ため池調査報告書，111pp. 名古屋ため池調査実行委員会.
- ・名古屋ため池生物多様性保全協議会，2010. 2009 年度なごやため池生きもの生き生き事業報告書，207pp. 名古屋ため池生物多様性保全協議会.
- ・名古屋ため池生物多様性保全協議会，2011. 平成 22 年度生物多様性保全推進支援事業名古屋ため池生き物いきいき計画事業報告書，81pp. 名古屋ため池生物多様性保全協議会.
- ・中園敏之，1989. 九州におけるホンドギツネのハビタット利用パターン. 哺乳類科学，29(1): 51-62.
- ・名和 明，2010. 名古屋市における哺乳類の記録. マンモ・ス特別号，12: 17-23.
- ・名和 明，2009. 名古屋市におけるカモシカの記録. マンモ・ス特別号，11: 69-75.
- ・名和 明，2009. 森の賢者カモシカ - 鈴鹿山地の定点観察記 - ，185pp. サンライズ出版，彦根.
- ・新美倫子，2003. 玉ノ井遺跡第 3 次調査出土の動物遺体. 埋蔵文化財調査報告 44，pp.157-158. 名古屋市教育委員会.
- ・西本豊弘，1988. 動物遺体. 伊川津遺跡 - 渥美町埋蔵文化財調査報告書 4 - ， pp.269-272. 渥美町教育委員会.
- ・野呂達哉，2009. 矢作川河畔林における哺乳類の基礎調査報告. 矢作川研究，(13): 105-112.
- ・野呂達哉，2013. 小幡緑地と金城学院大学で確認されたアカギツネ. 生きものシンフォニー7 号，なごや生物多様性センター.
- ・野呂達哉，2013. なごやのイノシシ. 生きものシンフォニー8 号，なごや生物多様性センター.
- ・野呂達哉，2014. 愛知県名古屋市におけるオヒキコウモリ *Tadarida insignis* の初記録. なごやの生物多様性，1: 65-69.
- ・野呂達哉，2014. 名古屋市のアカギツネその後. 生きものシンフォニー12 号，なごや生物多様性センター.
- ・野呂達哉，2014. 緑区のブドウ畑で確認されたニホンアナグマ. 生きものシンフォニー13 号，なごや生物多様性センター.
- ・Ohdachi, S. D., Y. Ishibashi, M. A. Iwasa and T. Saitoh (ed.). The Wild Mammals of Japan. SHOUKADOH Book Sellers, Kyoto.
- ・斎藤 豊・堂崎正博・祖一 誠，2014. 名古屋港に生息するスナメリの調査. 海洋と生物，36(1): 29-35.
- ・新修名古屋市史編集委員会（編），1997. 新修名古屋市史第一巻，894pp. 名古屋市.
- ・新修名古屋市史資料編集委員会（編），2008. 新修名古屋市史資料編自然，525pp. 名古屋市.
- ・新修名古屋市史資料編集委員会（編），2008. 新修名古屋市史資料編自然目録，222pp. 名古屋市.
- ・自然環境研究センター（編），2004. 第 6 回自然環境基礎調査-種の多様性調査 哺乳類分布調査報告書-，213pp. 環境省自然環境局生物多様性センター.
- ・自然環境研究センター（編），2008. 日本の哺乳類 [改訂 2 版]，206pp. 東海大学出版会，秦野.
- ・高田靖司，2002. 守山と春日井の哺乳類. 私たちの博物館 - 志段味の自然と歴史を訪ねて - ，62: 1-5.
- ・高槻成紀，2006. シカの生態誌. 480pp. 東京大学出版，東京.
- ・田村典子，2011. リスの生態学，211pp. 東京大学出版会，東京.
- ・Tatara, M. and T. Doi, 1994. Comparative analyses on food habits of Japanese marten, Siberian weasel, and leopard cat in the Tsushima Islands, Japan. Ecological Research, 9:99-107.
- ・渡辺 誠・岡田 賢・李 浩基・築瀬孝延，2002. 西志賀遺跡の自然遺物. 平手町遺跡，pp.61. 愛知県埋蔵文化財センター.
- ・山田文雄・池田 透・小倉 剛（編），2011. 日本の外来哺乳類 - 管理戦略と生態系保全 - ，439pp. 東京大学出版会，東京.
- ・吉野 勲，2010. 新宿御苑におけるタヌキの生息環境. Animate，8:33-36.

(2) 鳥 類

- ・愛知県，1977. 愛知県の野鳥. 愛知県環境部.
- ・愛知県，1983. 愛知の野鳥. 愛知県農地林務部.
- ・愛知県，1989. 愛知県野生鳥類生息調査報告書. 愛知県農地林務部.
- ・愛知県，1995. 愛知の野鳥. 愛知県農地林務部.
- ・愛知県，2002. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータブックあいち-動物編. 愛知県環境部自然環境課.
- ・愛知県，2004. 愛知県野生鳥類生息調査データ集. 愛知県環境部自然環境課.
- ・愛知県，2006. 愛知の野鳥 2006. 愛知県環境部自然保護課.
- ・愛知県，2009. 愛知県の絶滅のおそれのある野生動物-レッドデータブックあいち 2009-動物編. 愛知県環境部自然環境課.
- ・愛知県弥富野鳥園，1976~2015. 野鳥園だより No. 1~84.
- ・江崎保男ほか，2001. 近畿地区・鳥類レッドデータブック-絶滅危惧種判定システムの開発，京都大学出版会，京都.
- ・榎本佳樹，1941. 野鳥便覧下巻.
- ・環境省自然環境局野生生物課，2002. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータブック-2 鳥類.

- ・環境庁自然保護局生物多様性センター, 1999. 生物多様性調査, 鳥類調査中間報告書.
- ・清棲幸保, 1952. 日本鳥類大図鑑Ⅰ. 講談社.
- ・清棲幸保, 1952. 日本鳥類大図鑑Ⅱ. 講談社.
- ・清棲幸保, 1952. 日本鳥類大図鑑Ⅲ. 講談社.
- ・Cramp, S. et al. (ed.), 1977. Handbook of the Birds of Europe, the Middle East and North Africa vol. 1. Oxford University Press.
- ・Cramp, S. et al. (ed.), 1980. Handbook of the Birds of Europe, the Middle East and North Africa vol. 2. Oxford University Press.
- ・Cramp, S. et al. (ed.), 1983. Handbook of the Birds of Europe, the Middle East and North Africa vol. 3. Oxford University Press.
- ・Cramp, S. et al. (ed.), 1985. Handbook of the Birds of Europe, the Middle East and North Africa vol. 4. Oxford University Press.
- ・Cramp, S. et al. (ed.), 1988. Handbook of the Birds of Europe, the Middle East and North Africa vol. 5. Oxford University Press.
- ・Cramp, S. et al. (ed.), 1994. Handbook of the Birds of Europe, the Middle East and North Africa vol. 8. Oxford University Press.
- ・Krechmar, A. V., 1996. 北シベリア鳥類図鑑. 文一総合出版.
- ・建設省, 1997. 平成 6 年度河川水辺の国勢調査(河川版) 鳥類調査, 両生類・爬虫類・哺乳類調査, 陸上昆虫類等調査編. 山海堂.
- ・建設省, 2000. 平成 10 年度河川水辺の国勢調査(河川版) 鳥類調査, 両生類・爬虫類・哺乳類調査, 陸上昆虫類等調査編. 山海堂.
- ・サギと高速道路との共生を考える会合, 2015. 東名阪自動車道弥富 IC・蟹江 IC に飛来営巣するサギと高速道路との共生に向けた活動 2014 年活動報告.
- ・清水美登里・木村耕一, 2010. 愛知県内における鳥類の経年変化 (1) 山野で繁殖する鳥. 愛知県環境庁センター所報 38.
- ・武内功, 1959. 名古屋地方の鳥. 中部日本自然科学調査報告 3.
- ・del Hoyo, J. et al. (ed.), 1992. Handbook of the Birds of the World vol. 1. Lynx Edicions.
- ・del Hoyo, J. et al. (ed.), 1994. Handbook of the Birds of the World vol. 2. Lynx Edicions.
- ・del Hoyo, J. et al. (ed.), 1996. Handbook of the Birds of the World vol. 3. Lynx Edicions.
- ・del Hoyo, J. et al. (ed.), 1997. Handbook of the Birds of the World vol. 4. Lynx Edicions.
- ・del Hoyo, J. et al. (ed.), 1999. Handbook of the Birds of the World vol. 5. Lynx Edicions.
- ・del Hoyo, J. et al. (ed.), 2004. Handbook of the Birds of the World vol. 9. Lynx Edicions.
- ・del Hoyo, J. et al. (ed.), 2005. Handbook of the Birds of the World vol. 10. Lynx Edicions.
- ・del Hoyo, J. et al. (ed.), 2010. Handbook of the Birds of the World vol. 15. Lynx Edicions.
- ・del Hoyo, J. et al. (ed.), 2011. Handbook of the Birds of the World vol. 16. Lynx Edicions.
- ・del Hoyo, J. et al. (ed.), 2014. Illustrated Checklist of the Birds of the World volume 1. Lynx Edicions.
- ・東海自然環境調査研究会, 1993. 名古屋市及び近隣に生息する動物に関する調査報告. 名古屋市環境保全局.
- ・名古屋市, 1976. 名古屋の野鳥. 名古屋市緑地局.
- ・名古屋市, 1981. 名古屋の野鳥. 名古屋市農政緑地局.
- ・名古屋市, 1986. 名古屋の野鳥. 名古屋市農政緑地局.
- ・名古屋市, 1991. 名古屋の野鳥. 名古屋市農政緑地局.
- ・名古屋市, 1996. 名古屋の野鳥. 名古屋市農政緑地局.
- ・名古屋市, 2001. 名古屋の野鳥. 名古屋市緑政土木局.
- ・名古屋市, 2006. 名古屋の野鳥. 名古屋市緑政土木局.
- ・名古屋市, 2008. 新修名古屋市史資料編 自然.
- ・名古屋市, 2010. 名古屋の野鳥. 名古屋市緑政土木局.
- ・なごや生物多様性保全活動協議会, 2012. なごや生き物一斉調査 2011 野鳥編.
- ・日本鳥学会, 2012. 日本鳥類目録改訂 7 版, 日本鳥学会.
- ・(財) 日本野鳥の会, 1980. 鳥類繁殖地図調査. (財) 日本野鳥の会.
- ・(財) 日本野鳥の会, 1988. 動植物分布調査報告書(鳥類). (財) 日本野鳥の会.
- ・日本野鳥の会愛知県支部, 1982-2015. 日本野鳥の会愛知県支部報, (1)-(337). 日本野鳥の会愛知県支部.
- ・日本野鳥の会名古屋支部, 1975-1982. 日本野鳥の会名古屋支部報, (17)-(35). 日本野鳥の会名古屋支部.
- ・名古屋市野鳥観察館 指定管理者東海・稲永ネットワーク, 2016-2018, 藤前干潟周辺鳥類調査, 名古屋市緑政土木局
- ・環境省, 2015 秋期-2016 春期, 渡り鳥の飛来状況調査 藤前干潟, 環境省.
- ・環境省, 2016 秋期-2017 春期, 渡り鳥の飛来状況調査 藤前干潟, 環境省.
- ・環境省, 2017 秋期-2018 春期, 渡り鳥の飛来状況調査 藤前干潟, 環境省.
- ・環境省, 2018 秋期-2019 春期, 渡り鳥の飛来状況調査 藤前干潟, 環境省.
- ・環境省, 2016-2018, 国指定藤前干潟鳥獣保護区管理員報告, 環境省.
- ・日本野鳥の会愛知県支部, 2001-2017, 探鳥会全データ, 日本野鳥の会愛知県支部.
- ・愛知県鳥類生息調査より、平和公園、平針、庄内川.

- ・日本野鳥の会愛知県支部, 2010-2017, 鳥便り, 日本野鳥の会愛知県支部.
- ・国土交通省中部地方整備局庄内川河川事務所・愛知県河川工事事務所, 2006, 庄内川・新川河口干潟調査会報告書, 国土交通省.

(3) は虫類

- ・愛知県両生類・は虫類研究会, 1996. 愛知県の両生類・は虫類, 117pp. 愛知県農地林務部自然保護課, 名古屋.
- ・内山りゅう・前田憲男・沼田研児・関慎太郎, 2002. 決定版日本の両生爬虫類, 336pp. 平凡社, 東京.
- ・千石正一・疋田 努・松井正文・仲谷一宏(編), 1996. 両生類・爬虫類・軟骨魚類, 日本動物大百科第5巻, 189pp. 平凡社, 東京.
- ・中村健二・上野俊一, 1953. 原色日本両生類爬虫類図, 214pp. 保育社, 東京.
- ・日本カメ自然誌研究会(監), 2014. ミシシippアカミガメ防除マニュアル-名古屋市内の活動を事例として-, 34pp. なごや生物多様性保全活動協議会, 名古屋.
- ・野呂達哉, 2007. 爬虫類. 名古屋・東山新池ため池調査報告書 2007, pp.30-33. 名古屋ため池調査実行委員会, 名古屋市.
- ・野呂達哉・矢部隆, 2009. 爬虫類. 2009 年度なごやため池生きもの生き生き事業報告書, pp.1**-1**. 名古屋ため池生物多様性保全協議会事務局, 名古屋市.
- ・疋田 努・鈴木 大, 2010. 江戸本草書から推定される日本産クサガメの移入. 爬虫両棲類学会報第 2010 巻第 1 号, pp.41-46.
- ・矢部 隆, 2008. 名古屋の生物 動物 爬虫類. 新修名古屋市史 資料編 自然, pp.271-279. 名古屋市, 名古屋.
- ・矢部 隆, 2008. 爬虫類. 新修名古屋市史 資料編 自然 目録, pp.271-279. 名古屋市, 名古屋.
- ・矢部 隆, 2010. 淡水棲・陸棲カメ類. 野生動物保護の事典, pp.569-577. 朝倉書店, 東京.
- ・矢部 隆, 2010. 愛知の自然のなりたち 愛知の生物 愛知の脊椎動物. 愛知県史 別編 自然, pp.162-207. 愛知県, 名古屋.
- ・矢部 隆, 2010. 愛知の自然と人々 残したい貴重な動植物 愛知の脊椎動物. 愛知県史 別編 自然, pp.597-618. 愛知県, 名古屋.
- ・Okada, Y., T. Yabe and S. Oda, 2011. Interpopulation variation in sex ratio of the Japanese pond turtle *Mauremys japonica* (Reptilia: Geomydidae). *Current Herpetology*, 30(1): 53-61.
- ・Suzuki, D., H. Ota, H. Oh and T. Hikida, 2011. Origin of Japanese Populations of Reeves' Pond Turtle, *Mauremys reevesii* (Reptilia: Geomydidae), as Inferred by a Molecular Approach. *Chelonian Conservation and Biology*, 10(2):237-249.

(4) 両生類

- ・内山りゅう・前田憲男・沼田研児・関慎太郎, 2002. 決定版日本の両生爬虫類, pp.56-59. 平凡社, 東京.
- ・林光 武, 1993. ダンスを踊って求愛 アカハライモリ. 両生類・爬虫類 1 アシナシイモリ、サンショウウオ. 週刊朝日百科動物たちの地球, 97:20-22. 朝日新聞社.
- ・松橋利光・奥山風太郎, 2002. アズマヒキガエル. 山溪ハンディ図鑑 日本のカエル+サンショウウオ, pp.28-39. 山と溪谷社, 東京.
- ・浦野明央・石原勝敏(編), 1987. ヒキガエルの生物学, 289pp. 裳華房, 東京.
- ・Ihara, S., T. Fujitani., 2005. Prey Items Salamander *Hynobius nebulosus* in Nagoya and its Inferred Position in the soil food web. *Edaphologia*, (76):7-10.
- ・大谷 勉, 2009. 日本の爬虫両棲類, 288pp. 文一総合出版, 東京.
- ・Matsui, M., K. Nishikawa, S. Tanabe and Y. Misawa, 2001. Systematic status of *Hynobius tokyoensis* from Aichi Prefecture, Japan: a biochemical survey (Amphibia, Urodela). *Comparative Biochemistry and Physiology*, 130B(2):181-189.
- ・藤谷武史, 2000. 名古屋市東山公園におけるトウキョウサンショウウオの調査. 両生類誌, 4:9-12.
- ・愛知県, 1996. 愛知県の両生類・爬虫類, 117pp. 愛知県.
- ・島田知彦・坂部あい, 2014. 西三河平野部におけるツチガエルの分布. 豊橋自然史博物館研報, (24):7-15.
- ・島田知彦・坂部あい, 2014. 知多半島におけるツチガエルの生息地の一例. 豊橋市自然史博物館研報, (24):33-35.
- ・松井正文, 2003. 野生動物の保全遺伝学 14 両生類. 小池裕子・松井正文(編), 保全遺伝学, pp.214-226. 東京大学出版会, 東京.
- ・長井悠佳里, 土井敏男, 湯浅義明, 藤谷武史, 伊藤邦夫, 小泉雄紀, 三浦郁夫, 2011. ナゴヤダルマガエルの遺伝的地域分化-とくに岡山集団とナゴヤ集団が接する境界領域について-. 爬虫両棲類学会報, 2011(1):55. 日本爬虫両生類学会第 49 回大会 発表要旨.
- ・光田佳代・原 直之・高木雅紀・山崎裕治・宮川修一・岩澤 淳, 2011. PCR と制限酵素を利用したトノサマガエルとナゴヤダルマガエルの母親系統の簡易な判別法. 両生類誌, 21:17-22.
- ・前田憲男・松井正文, 1999. 改訂版 日本カエル図鑑, 223pp. 文一総合出版, 東京.
- ・比婆科学教育振興会, 1996. 広島県の両生・爬虫類, 163pp. 中国新聞社, 広島.

(5) 魚 類

- ・愛知県, 2002. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータブックあいち-動物編, 596pp. 愛知県環境部自然環境課.

- ・愛知県, 1978. 栽培漁業あゆ, pp.1-57. 愛知県.
- ・愛知県科学教育センター, 1967. 愛知の動物, pp. 1-223. 愛知県科学教育センター.
- ・愛知県水産試験場, 1994. 水産試験場創立百周年記念誌. 愛知県水産試験場.
- ・荒尾一樹, 2008. 庄内川で採集された魚類. 豊橋市自然史博物館研究報告, 18: 25-27.
- ・荒尾一樹・山上将史・大仲知樹, 2007. 愛知県の河口地域魚類. 豊橋市自然史博物館研究報告, 17: 29-40.
- ・川那部浩哉・水野信彦, 1989. 山溪カラー名鑑 日本の淡水魚, 720pp. 山と溪谷社, 東京.
- ・環境庁, 1983. 河川調査. 第2回自然環境保全基礎調査報告書資料編, pp. 23-102. 環境庁.
- ・環境庁自然保護局, 1987. 愛知県. 第3回自然環境保全基礎調査河川調査報告書東海版(岐阜県・静岡県・愛知県・三重県), pp.23-102.
- ・環境庁自然保護局・朝日航洋株式会社, 1994. 第4回自然環境保全基礎調査河川調査報告書(全国版). 環境庁.
- ・建設省, 1998. 平成7年度河川水辺の国勢調査(河川版)魚介類調査, 底生動物調査編. 山海堂, 東京.
- ・建設省, 1999. 平成9年度河川水辺の国勢調査(河川版)魚介類調査, 底生動物調査編. 山海堂, 東京.
- ・国土交通省, 2001. 平成11年度河川水辺の国勢調査(河川版)鳥類調査, 両生類・爬虫類・哺乳類調査, 陸上昆虫類等調査編. 山海堂, 東京.
- ・國村恵子, 2002. 川に遊び 川に学ぶ, 314pp. 名古屋市水辺研究会.
- ・Miyazaki, J. M. Dobashi, T. Tamura, S. Beppu, T. Sakai, M. Mihara and K. Hosoya, 2011. Parallel evolution in eight-barbel loaches of the genus *Lefua* (Balitoridae, Cypriniformes) revealed by mitochondrial and nuclear DNA phylogenies. *Molecular Phylogenetics and Evolution*, 60: 416-427.
- ・Miyazaki, J., K. Nakao, M. Mihara, T. Sakai, Y. Gunji, K. Tojo, K. Muraoka and K. Hosoya, 2007. Incongruence between mtDNA phylogeny and morphological and ecological characters in loaches of the genus *Lefua* (Balitoridae, Cypriniformes). *Zoological Science*, 24: 666-675.
- ・宮地傳三郎・川那部浩哉・水野信彦, 1976. 原色日本淡水魚類図鑑, 462pp. 保育社, 大阪.
- ・向井貴彦・西田睦, 2003. 日本産ドンコにおけるミトコンドリア DNA の系統と関東地方への人為移植の分子証拠. 魚類学雑誌, 50: 71-76.
- ・中島淳・洲澤謙・斉藤憲治, 2012. 日本産シマドジョウ属魚類の標準と名の提唱. 魚類学雑誌, 59: 86-95.
- ・名古屋市, 1978. 昭和53年 公害の現況. 名古屋市公害対策局.
- ・名古屋市, 1979. 昭和54年 公害の現況. 名古屋市公害対策局.
- ・名古屋市, 1980. 昭和55年 公害の現況. 名古屋市公害対策局.
- ・名古屋市, 1981. 昭和56年 公害の現況. 名古屋市公害対策局.
- ・名古屋市, 1986. 昭和61年 公害の現況. 名古屋市公害対策局.
- ・名古屋市, 1988. 昭和63年 公害の現況. 名古屋市公害対策局.
- ・名古屋市, 1990. 平成2年 公害の現況. 名古屋市公害対策局.
- ・名古屋市, 1992. 平成4年版 公害の現況. 名古屋市環境保全局.
- ・名古屋市, 1994. 平成6年版 公害の現況. 名古屋市環境保全局.
- ・名古屋市, 1996. 平成8年版 名古屋市環境白書(資料編). 名古屋市環境保全局.
- ・名古屋市, 1998. 平成10年版 名古屋市環境白書(資料編). 名古屋市環境保全局.
- ・名古屋市, 2000. 平成12年版 名古屋市環境白書(資料編). 名古屋市環境局.
- ・名古屋市, 2002. 平成14年版 名古屋市環境白書(資料編). 名古屋市環境局.
- ・鈴木寿之・向井貴彦, 2010. シマヒレヨシノボリとトウカイヨシノボリ: 池沼性ヨシノボリの特徴と生息状況. 魚類学雑誌, 57:176-179. 環境庁.
- ・鈴木寿之・坂本勝一, 2005. 岐阜県と愛知県で採集されたトウカイヨシノボリ(新称). 日本生物地理学会会報, 60:13-20.
- ・自然保護課, 1985. 愛知県の河川と海岸及び干潟. 愛知県の自然環境 1984, pp.223-238. 愛知県農地林務部自然保護課.
- ・東海自然環境調査研究会, 1993. 名古屋市及び近隣に生息する動物に関する調査報告, 174pp. 名古屋市環境保全局.
- ・梅村諒二, 1984. 淡水魚類. 愛知の動物. pp.212-231. 愛知県郷土資料刊行会.
- ・梅村諒二, 1968. 魚類. 愛知県立自然公園学術調査書, pp.127-144. 愛知県.
- ・Yamazaki, Y., A. Goto and M. Nisida, 2003. Mitochondrial DNA sequence divergence between two cryptic species of *Lethenteron*, with reference to an improved identification technique. *Journal of Fish Biology*, 62:591-609.

(6) 昆虫類

- ・阿江 茂, 1975. 1958年3月の八事の蛾. 佳香蝶, 27(101):15.
- ・阿江 茂, 1983. 昆虫分布調査報告書, iii+62pp. 愛知県農地林務部.
- ・阿江茂樹, 1974. 名古屋市八事・東山附近のトンボ. 佳香蝶, 26(100):99-100.
- ・愛知県, 2002. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータブックあいち-動物編, 596pp. 愛知県環境部自然環境課.
- ・相田正人, 1989-1990. 濃尾平野のナゴヤサナエ(1)-(7). 月刊むし, (221)-(226).
- ・安藤 尚, 1977. 名古屋市のヒメボタル. 佳香蝶, 29(111):29-31.
- ・安藤 尚, 1978. 愛知県と岐阜県のマダラナニワトンボ. 佳香蝶, 30(114):21-23.
- ・安藤 尚, 1982. 尾張平野のヒメボタル. 佳香蝶, 34(130):34.
- ・安藤 尚, 1987. 愛知県におけるトラフトンボの採集例. 佳香蝶, 39(151):42.

- ・安藤 尚, 1987. 愛知・岐阜両県とその周辺のコサナエ属サナエトンボ 3 種の分布. 佳香蝶, 39(152):59-67.
- ・安藤 尚ほか, 1972. 第 2 回自然環境保全基礎調査, 動物分布調査報告書 (昆虫類), 愛知県, i+93pp. 環境庁.
- ・安藤 尚・岡田正哉・横地鋭典, 1979. 東海の昆虫, 223pp. 中日新聞本社.
- ・安藤成夫ほか, 1967. 愛知の動物, iv+222pp. 愛知県科学教育センター.
- ・朝比奈正二郎, 1988. 日本産ゴキブリ分類ノート, XVII. オオゴキブリ族の種類. 衛生動物, 39(1):53-62.
- ・尾藤成人, 1988. 名古屋市内でシンジュキノカワガを採集. 蛾類通信, (147):337.
- ・尾藤成人, 1990. 名古屋市都心部 (東区筒井) で採集した蛾類. 誘蛾灯, 120:75-82.
- ・深田雅之, 1971. 名古屋市内で採集したオオシロカミキリ. 月刊むし, (7):36.
- ・福田晴夫ほか, 1982. 原色日本蝶類生態図鑑 (I), 277pp, pls.64. 保育社, 大阪.
- ・福田晴夫ほか, 1983. 原色日本蝶類生態図鑑 (II), 325pp, pls.64. 保育社, 大阪.
- ・福田晴夫ほか, 1984. 原色日本蝶類生態図鑑 (III), 373pp, pls.72. 保育社, 大阪.
- ・福田晴夫ほか, 1984. 原色日本蝶類生態図鑑 (IV), 373pp, pls.64. 保育社, 大阪.
- ・福原梶男, 1982. 水田に見られる直翅目害虫の見分け方 (1). 植物防疫, 36(11):34-38.
- ・原 聖樹・青山潤三, 1993. チョウが消えた!?, pp.48-59. あかね書房, 東京.
- ・長谷川道明, 2002. 豊橋市自然史博物館所蔵森部一雄コレクションに含まれる重要な愛知県産甲虫類. 豊橋市自然史博研報, (12):49-53.
- ・長谷川道明, 2006. 穂積俊文博士から寄贈された名古屋市産トゲナベプタムシの標本について. 豊橋市自然史博研報, (16):55-57.
- ・長谷川道明・蟹江昇・戸田尚希, 2015. 愛知県のトックリゴミムシ類. 豊橋市自然史博研報: No.(25):21-24, 豊橋市自然史博物館
- ・林 昌利, 2000. 名古屋城の自然・昆虫編, 119pp. (財)名古屋城振興協会.
- ・林 正美, 1984. 日本産セミ類概説. 日本セミの会会報, 5(2,3,4):25-51.
- ・広 正義ほか, 1983. 名古屋城外堀生物調査報告書, iii+59pp. 名古屋城管理事務所.
- ・日浦 勇, 1993. 原色日本昆虫図鑑 (下), 385pp. 保育社, 大阪市.
- ・穂積俊文, 1955. 尾張地方の甲虫相. 新昆虫, 8(11):36-38.
- ・穂積俊文, 1972. 東海甲虫誌 (第 18 報). 佳香蝶, 24(92):37-56.
- ・穂積俊文・佐藤正孝, 1957. 東海甲虫誌 (第 3 報). 佳香蝶, 9(32):1-7.
- ・穂積俊文ほか, 1975. 庄内川の昆虫, 40pp,12pls. 建設省庄内川工事事務所刊.
- ・穂積俊文ほか, 1990. 愛知県の昆虫 (上), 506pp. 愛知県昆虫分布研究会.
- ・Hori, Y., 1977. A new Species of the Genus *Ommatidiotus* (Homoptera, Issidae) from Japan. *Annotations Zoologicae Japonenses*, 50(20):127-130.
- ・堀 義宏, 1982. 愛知県の半翅目. 昆虫と自然, 17(12):22-25.
- ・堀 義宏, 1989. 都市環境下の昆虫相について (1), 名古屋市の頸吻類. 名古屋市衛生研究所報, (35):118-123.
- ・堀 義宏, 1991. 都市環境下の昆虫相について (2), 名古屋市の頸吻類. 名古屋市衛生研究所報, (37):93-100.
- ・井野川重則, 1973. 熱田神宮にてベーツヒラタカミキリを採集. 佳香蝶, 25(96):55.
- ・井上 寛ほか, 1972. 原色昆虫大図鑑第 1 巻 (蝶蛾編), pp.1-284. 北隆館, 東京.
- ・井上 寛ほか, 1982. 日本産蛾類大図鑑, 1:41-43,2:1-556,pls.1-392. 講談社, 東京.
- ・伊藤芳教, 1992. ミツノエンマコガネの外部形態による雌雄の区別法について. 月刊むし, 262:23-24.
- ・河路圭吾, 1981. 庄内川で採集したカワラゴミムシ. 佳香蝶, 33(126):31.
- ・河路掛吾, 1986. ホソハンミョウの記録. 佳香蝶, 38(148):60.
- ・河路掛吾, 1991. 愛知県におけるトダセスジゲンゴロウの記録. 月刊むし, (246): 36.
- ・川副昭人・若林守男, 1976. 原色日本蝶類図鑑, 422pp. 保育社, 大阪.
- ・建設省, 1996. 平成 5 年度河川水辺の国勢調査 (河川版) 鳥類調査, 両生類・爬虫類・哺乳類調査, 陸上昆虫類等調査編. 山海堂, 東京.
- ・建設省, 1996. 平成 5 年度河川水辺の国勢調査 (河川版) 魚介類調査, 底生動物調査編. 山海堂, 東京.
- ・建設省, 1998. 平成 8 年度河川水辺の国勢調査 (河川版) 鳥類調査, 両生類・爬虫類・哺乳類調査, 陸上昆虫類等調査編. 山海堂, 東京.
- ・建設省, 1999. 平成 9 年度河川水辺の国勢調査 (河川版) 魚介類調査, 底生動物調査編. 山海堂, 東京.
- ・倉内一二ほか, 1984. 愛知県の自然環境, viii+278pp. 愛知県自然保護課.
- ・松井 勲ほか (編), 1990. 東海の自然誌. i+406pp. (財)東海財団.
- ・Miyatake, M., 1985. Notes on the genus *Tenomerga* of Japan (Coleoptera: Cupedidae). *Transactions of the Shikoku Entomological Society*, 17:21-26.
- ・中谷至伸・吉武 啓・吉松慎一・石川 忠, 2013. 農業環境技術研究所所蔵のサンガメ科 (昆虫綱:カメムシ目) 標本目録. 農環研報, 32:11-37.
- ・名古屋昆虫同好会, 1990-2014. 佳香蝶, 160-260.
- ・名古屋市, 1978. 昭和 53 年 公害の現況. 名古屋市公害対策局.
- ・名古屋市, 1979. 昭和 54 年 公害の現況. 名古屋市公害対策局.
- ・名古屋市, 1980. 昭和 55 年 公害の現況. 名古屋市公害対策局.
- ・名古屋市, 1981. 昭和 56 年 公害の現況. 名古屋市公害対策局.
- ・名古屋市, 1986. 昭和 61 年 公害の現況. 名古屋市公害対策局.

- ・名古屋市, 1988. 昭和 63 年 公害の現況. 名古屋市公害対策局.
- ・名古屋市, 1990. 平成 2 年 公害の現況. 名古屋市公害対策局.
- ・名古屋市, 1992. 平成 4 年版 公害の現況. 名古屋市環境保全局.
- ・名古屋市, 1994. 平成 6 年版 公害の現況. 名古屋市環境保全局.
- ・名古屋市, 1994. なごやのほたる, 24pp. 名古屋市環境保全局.
- ・名古屋市, 1996. 平成 8 年版 名古屋市環境白書 (資料編). 名古屋市環境保全局.
- ・名古屋市, 1998. 平成 10 年版 名古屋市環境白書 (資料編). 名古屋市環境保全局.
- ・名古屋市, 2000. 平成 12 年版 名古屋市環境白書 (資料編). 名古屋市環境局.
- ・名古屋市, 2002. 平成 14 年版 名古屋市環境白書 (資料編). 名古屋市環境局.
- ・成瀬善一朗, 1957. オオシロカミキリ東区で採集. *Napi News*, (22):8.
- ・ニューサイエンス社 (編), 1982. 愛知県の昆虫特集, 17(12):2-25.
- ・岡田正哉ほか, 1991. 愛知県の昆虫 (下), 416pp. 愛知県昆虫分布研究会.
- ・岡田正哉, 1999. ナナフシのすべて. トンボ出版. 大阪市.
- ・岡田正哉, 2000. カマキリのすべて, 63pp. トンボ出版. 大阪市.
- ・大沢省三・三島敏夫, 1894. 名古屋市内の甲虫 3 種. 佳香蝶, 36(139):36.
- ・佐々木昇, 1994. 日本産蛾類の知見. pp.1-364. (自費出版).
- ・佐藤正孝, 1971. 知多半島の水生甲虫類. 日本昆虫学会東海支部報, 24:2-3.
- ・佐藤正孝, 1978. 熱田神宮林の昆虫類. 熱田神宮林苑保護委員会調査報告書, pp.93-110.
- ・佐藤正孝・安藤 尚 (編), 1984. 愛知の動物, 325pp. 愛知県郷土資料刊行会.
- ・佐藤正孝・長谷川道明 (編), 2001. 穂積俊文博士記念論文集, 東海甲虫誌, 368pp. 穂積俊文博士記念論文集発行事業会.
- ・清水典之・鶴殿清文・鶴殿 茂, 1972. 名古屋市南区のトンボ 5 種の新産地と種類追加. 佳香蝶, 24(93):73.
- ・清水典之, 1992. トンボ *Dragonflies*, pp.72. 自刊, 名古屋.
- ・清水清市, 1990. 愛知県尾張平野部のミツノエンマコガネ. 月刊むし, (230):40.
- ・杉 繁郎ほか, 1987. 日本産蛾類生態図鑑, pp.1-458. 北隆館, 東京.
- ・高橋 昭, 1975. 名古屋市内のギフチョウは絶滅してしまったか?. 昆虫と自然, 10(4):29-31.
- ・高橋 昭・葛谷 健, 1956. 中部東海地方産蝶類目録, 第 3 報. 佳香蝶, 8(29/30):1-123.
- ・高橋 敬, 1975. 甲虫雑記 (1), 名古屋市東山の甲虫. 佳香蝶, 27(101):9-10.
- ・高崎保郎, 1968. 愛知県のムスジイトトンボ. 佳香蝶, 20(60):101-104.
- ・高崎保郎, 1994. 名古屋市中心部地下街でサラサヤンマを採集. 月刊むし, (286):12.
- ・高崎保郎, 1997. ため池の衰退を反映するベッコウトンボの滅亡. ため池の自然, (26):1-6.
- ・高崎保郎, 2003. 愛知県のベニイトトンボ (第 2 報). ため池の自然, (38):1-8.
- ・高崎保郎, 2002. 愛知万博会場予定地におけるムカシヤンマの生息環境と羽化生態. 月刊むし, (377):36-41.
- ・竹内重信, 1985. 名古屋城外堀, ヒメボタル, 86pp. エフエー出版, 名古屋.
- ・田中 蕃, 1978. 日本産 *Ladoga* 属の幼生期の食草と分布. 蝶と蛾, 29(1):35-45.
- ・田中多喜彦, 1982. 愛知県の注目すべき蛾, 名古屋近郊を中心に. 佳香蝶, 34(131):43-45.
- ・Tominaga, Storozhenko and Kano, 1996. Two new and a subspecies of the genus *Parapodisma* (Orthoptera, Acrididae) from Japan. *Tettigonia*, 1(1):1-23.
- ・東海自然環境調査研究会, 1993. 名古屋市及び近隣に生息する動物に関する調査報告, viii+174pp. 名古屋市環境保全局.
- ・鶴殿清文・鶴殿 茂・清水典之, 1974. 黄昏活動性のヤンマ 3 種. 佳香蝶, 26(100):95-98.
- ・梅谷献二, 1994. 野外の毒虫と不快な昆虫, pp.1-331. 全国農村教育協会, 東京.
- ・渡辺康之, 1991. 検索入門 チョウ①, 207pp. 保育社, 大阪.
- ・渡辺康之, 1991. 検索入門 チョウ②, 207pp. 保育社, 大阪.
- ・矢崎充彦, 2012. 愛知県に侵入したキマダラカメムシ. 月刊むし, (491):44-45.
- ・山内博美・北原誠次, 1992. 名古屋市内でベッコウトンボを採集. 月刊むし, (253):36.
- ・山内博美・三輪利宏, 1992. 名古屋市内でネアカヨシヤンマを採集. 月刊むし, (253):36.
- ・Yoshitomi, H., 1997. A revision of the Japanese species of the genus *Elodes* and *Sacodes* (Coleoptera, Scirtidae). *Elytra*, 25:349-417.
- ・吉富博之・長谷川道明, 1997. 愛知県のアメンボ. 豊橋市博研報, (7):35-39.

(7) クモ類

- ・愛知県環境調査センター (編), 2002. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックあいち -動物編-, 596pp. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.
- ・愛知県環境調査センター (編), 2009. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックあいち 2009 -動物編-, 651pp. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.
- ・名古屋市動植物実態調査検討会 (監), 2004. レッドデータブックなごや 2004 -動物編-, 368pp. 名古屋市環境局環境都市推進部生物環境影響評価室, 名古屋.
- ・名古屋市動植物実態調査検討会 (監), 2010. レッドデータブックなごや 2010 -2004 年版補遺-, 316pp. 名古屋市環境局環境都市推進部生物多様性企画室, 名古屋.

- ・Tanikawa, A., 2001. Two new synonymies of the spider genus *Cyrtarachne* (Araneae: Araneidae). *Acta Arachnologica*, 50(1):87-89.
- ・千国安之輔, 1989. 写真日本クモ類大図鑑, 308pp. 偕成社, 東京.
- ・Tanaka, H., 1986. Descriptions of Three New Spiders of the *Pardosa laura* Complex (Araneae: Lycosidae) based on their Morphology and Ecology. *Acta Arachnologica*, 34(2):49-60.
- ・Tanaka, H., 1998. A New Species of the Genus *Pardosa* (Araneae: Lycosidae) from Japan. *Acta Arachnologica*, 47(2):101-103.
- ・石井幸子, 2000. ゲホウグモの観察 ー網・フ化、および越冬の観察ー. 蜘蛛, (32/33):611-618. 中部蜘蛛談話会.
- ・加村隆英, 2002. ワシグモ科 Gnaphosidae (その5). くものいと, (32):23-25. 関西クモ研究会.
- ・建設省, 1996. 平成5年度河川水辺の国勢調査(河川版) 鳥類調査, 両生類・爬虫類・哺乳類調査, 陸上昆虫類等調査編. 山海堂, 東京.
- ・建設省, 1998. 平成8年度河川水辺の国勢調査(河川版) 鳥類調査, 両生類・爬虫類・哺乳類調査, 陸上昆虫類等調査編. 山海堂, 東京.
- ・村上 勝, 1970. トリノフンダマシ名古屋で採集. 中部蜘蛛談話会会報, (2):8. 中部蜘蛛談話会.
- ・村上 勝, 1972. スズミグモ *Cyrtophora ikomasanensis* B. et S.の生息地について. 中部蜘蛛談話会会報, (8):42. 中部蜘蛛談話会.
- ・村上 勝, 1995. オダカウレイグモを名古屋港で採集. 蜘蛛, (28):358. 中部蜘蛛談話会.
- ・村上 勝, 1998. 我が家の蜘蛛. 蜘蛛, (30):436. 中部蜘蛛談話会.
- ・村上 勝, 2002. 2001年度採集観察会・合宿報告(第4回). 蜘蛛, (35):739-740. 中部蜘蛛談話会.
- ・村上 勝, 2008. 我が家で見かける蜘蛛. 蜘蛛, (41):1011. 中部蜘蛛談話会.
- ・村上 勝, 2012. 2011年度採集観察会第4回 庄内緑地公園. 蜘蛛, (45):1282-1283. 中部蜘蛛談話会.
- ・村上 勝, 2013. 2012年度採集観察会第2回 庄内緑地公園. 蜘蛛, (46):1335. 中部蜘蛛談話会.
- ・永井 均, 1983. 興正寺のクモ(1). 蜘蛛, (17):109-110. 中部蜘蛛談話会.
- ・永井 均, 1984. 興正寺のクモ(2). 蜘蛛, (18):115-116. 中部蜘蛛談話会.
- ・永井 均, 1985. 名城大学研究棟外壁に生息するチリグモの個体数年変動について. 蜘蛛, (19):129. 中部蜘蛛談話会.
- ・小笠原幸恵, 1993. はじめまして… ー我が家のクモたちー. 蜘蛛, (26):265-268. 中部蜘蛛談話会.
- ・小笠原幸恵, 1993. 1993年度例会・採集会報告等(1). 蜘蛛, (26):278-284. 中部蜘蛛談話会.
- ・小笠原幸恵, 1997. ちょっと寒い朝でもどっこい生きている その2. まどい, (15):9-12. 中部蜘蛛談話会.
- ・小笠原幸恵, 1994. 1994年度第2回採集会報告. 蜘蛛, (27):325-326. 中部蜘蛛談話会.
- ・小笠原幸恵, 1997. 短期間で成体になったヒメフクログモの一例. 蜘蛛, (29):397. 中部蜘蛛談話会.
- ・小笠原幸恵, 1997. スズミグモの越冬について. 蜘蛛, (29):398-399. 中部蜘蛛談話会.
- ・小笠原幸恵, 1997. 1996年度第3回採集観察会報告. 蜘蛛, (29):409-410. 中部蜘蛛談話会.
- ・緒方清人, 1985. マネキグモの思い出. 蜘蛛, (19):134-135. 中部蜘蛛談話会.
- ・緒方清人, 1987. 八事天白溪湿地のクモ. 蜘蛛, (21):157-159. 中部蜘蛛談話会.
- ・緒方清人・小笠原幸恵, 1994. 名古屋市の真正クモ類について(1). 蜘蛛, (27):295-304. 中部蜘蛛談話会.
- ・緒方清人, 1994. クモ3種の採集例について イトグモ アダンソンハエトリ ツシマトリノフンダマシ. 蜘蛛, (27):311-312. 中部蜘蛛談話会.
- ・緒方清人・小笠原幸恵, 1995. 名古屋市の真正クモ類について(2). 蜘蛛, (28):341-344. 中部蜘蛛談話会.
- ・緒方清人・小笠原幸恵, 1995. 1995年度第3回採集会報告. 蜘蛛, (28):364-365. 中部蜘蛛談話会.
- ・緒方清人・小笠原幸恵, 1997. 名古屋市の真正クモ類について(3). 蜘蛛, (29):384-386. 中部蜘蛛談話会.
- ・緒方清人・須賀瑛文, 2001. 名古屋城庭園内のクモ類と多足類. 蜘蛛, (34):651-654. 中部蜘蛛談話会.
- ・緒方清人, 2002. 2001年度採集観察会・合宿報告(第1回). 蜘蛛, (35):735-736. 中部蜘蛛談話会.
- ・緒方清人, 2009. 愛知県産クモ目録追加種. 蜘蛛, (42):1062. 中部蜘蛛談話会.
- ・緒方清人, 2009. 2008年度第2回採集会報告. 蜘蛛, (42):1081-1082. 中部蜘蛛談話会.
- ・緒方清人・大原結, 2009. INAX主催・平和公園観察会. 蜘蛛, (42):1084-1085. 中部蜘蛛談話会.
- ・緒方清人, 2010. 愛知県産クモ目録 追加と削除ならびに変更と改称. 蜘蛛, (43):1120-1122. 中部蜘蛛談話会.
- ・緒方清人, 2010. 2009年度採集観察会第2回 緑区大高緑地公園. 蜘蛛, (43):1141. 中部蜘蛛談話会.
- ・緒方清人, 2011. 愛知県内でのキンノウエトタテグモの新産地. 蜘蛛, (44):1200-1203. 中部蜘蛛談話会.
- ・緒方清人, 2012. 愛知県産クモ目録 追加種(IV). 蜘蛛, (45):1237-1239. 中部蜘蛛談話会.
- ・緒方清人, 2013. 愛知県産クモ目録 追加種(V). 蜘蛛, (46):1312-1314. 中部蜘蛛談話会.
- ・奥田敏夫(付記:須賀瑛文), 1997. 都会で出会ったトタテグモ. まどい, (15):5. 中部蜘蛛談話会.
- ・小栗大樹, 2010. 2009年度採集観察会第3回 平和公園. 蜘蛛, (43):1142. 中部蜘蛛談話会.
- ・小栗大樹, 2010. 2009年度採集観察会第4回 小幡緑地公園. 蜘蛛, (43):1143. 中部蜘蛛談話会.
- ・小栗大樹, 2012. 2011年度採集観察会第3回 小幡緑地公園. 蜘蛛, (45):1281-1282. 中部蜘蛛談話会.
- ・小栗大樹, 2013. 2012年度採集観察会第1回 平和公園. 蜘蛛, (46):1334. 中部蜘蛛談話会.
- ・柴田良成, 1997. 観察採集会報告④. まどい, (15):15. 中部蜘蛛談話会.
- ・柴田良成, 1998. 「我が家」への同居者と訪問者. 蜘蛛, (30):428-429. 中部蜘蛛談話会.
- ・柴田良成, 1998. 1997年度第4回採集観察会報告. 蜘蛛, (30):498-499. 中部蜘蛛談話会.
- ・柴田良成, 1999. 1998年度第4回採集観察会報告. 蜘蛛, (31):562-564. 中部蜘蛛談話会.

- ・柴田良成, 2001. 名古屋市千種区内におけるキシノウエトタテグモの分布調査. 蜘蛛, (34):646-650. 中部蜘蛛談話会.
- ・柴田良成, 2001. 2000年度採集観察会第3回 興正寺. 蜘蛛, (34):692-693. 中部蜘蛛談話会.
- ・柴田良成, 2005. 2004年度採集観察会第1回 平和公園. 蜘蛛, (38):817-818. 中部蜘蛛談話会.
- ・柴田良成, 2006. 2005年度採集観察会第4回 平和公園. 蜘蛛, (39):916-917. 中部蜘蛛談話会.
- ・柴田良成, 2006. 平和公園及び東山公園周辺の蜘蛛類. 蜘蛛, (39):886-891. 中部蜘蛛談話会.
- ・柴田良成, 2007. 2006年度採集観察会第3回 平和公園. 蜘蛛, (40):966-967. 中部蜘蛛談話会.
- ・柴田良成, 2008. 2007年度採集観察会第3回 興正寺. 蜘蛛, (41):1034-1035. 中部蜘蛛談話会.
- ・柴田良成, 2011. 2010年度採集観察会第3回 興正寺. 蜘蛛, (44):1219-1220. 中部蜘蛛談話会.
- ・柴田良成, 2012. 今年はスズミグモの当たり年?! . 蜘蛛, (45):1266. 中部蜘蛛談話会.
- ・柴田良成, 2012. 越冬するクモ 1-名古屋市西部地域を中心とした冬場のクモの観察記録-. 蜘蛛, (45):1244-1247. 中部蜘蛛談話会.
- ・柴田良成, 2013. 越冬するクモ 2 -名古屋市西部地域を中心とした冬場のクモの観察記録-. 蜘蛛, (46):1321-1322. 中部蜘蛛談話会.
- ・柴田良成, 2013. 蜘蛛の点描記録 -名古屋市内で見られた観察記録-. 蜘蛛, (46):1323-1322. 中部蜘蛛談話会.
- ・柴田良成, 2013. ワスレナグモ ヲ ワスレルナ. 蜘蛛, (46):1324. 中部蜘蛛談話会.
- ・柴田良成, 2013. 2012年度採集観察会第4回 小幡緑地公園. 蜘蛛, (46):1338. 中部蜘蛛談話会.
- ・清水善夫, 1983. くもまんだら -その8- クモとコンピューター時代に思う. 蜘蛛, (17):107. 中部蜘蛛談話会.
- ・須賀瑛文, 1972. 名古屋市内産真正クモ類メモ. 中部蜘蛛談話会会報, (7):31-34. 中部蜘蛛談話会.
- ・須賀瑛文, 1980. クモ採集覚え書 -その3- ハングツオスナキグモ. 蜘蛛, (14):68-69. 中部蜘蛛談話会.
- ・須賀瑛文, 1980. クモの越冬 その1 ジョロウグモ その2 ハングツオスナキグモ. 蜘蛛, (14):71. 中部蜘蛛談話会.
- ・須賀瑛文, 1983. 愛知県産クモ類分布資料としての文献. 蜘蛛, (17):104-107. 中部蜘蛛談話会.
- ・須賀瑛文, 1984. 真正蜘蛛類. 愛知の動物 愛知文化シリーズ (3), pp.41-62. (株) 愛知県郷土資料刊行会, 名古屋.
- ・須賀瑛文, 1985. 愛知県のトタテグモ類. 蜘蛛, (19):121-128. 中部蜘蛛談話会.
- ・須賀瑛文, 1986. スズミグモの網の小観察. 蜘蛛, (20):147. 中部蜘蛛談話会.
- ・須賀瑛文, 1989. 愛知県・三重県・静岡県におけるトタテグモ類三種について. 蜘蛛, (22):173-181. 中部蜘蛛談話会.
- ・須賀瑛文, 1995. 名古屋港付近のマダラヒメグモの生息地と環境. 蜘蛛, (28):358. 中部蜘蛛談話会.
- ・須賀瑛文, 2010. 2009年度採集観察会第1回 守山区上志段味. 蜘蛛, (43):1140. 中部蜘蛛談話会.
- ・須賀瑛文・柴田良成, 2012. 7クモ類調査. 都市部における生物多様性の保全と外来生物対策事業報告書, pp131-135. なごや生物多様性保全活動協議会, 名古屋.
- ・須賀瑛文・緒方清人・柴田良成, 2013. 8クモ類調査. 都市部における生物多様性の保全と外来生物対策事業報告書, pp.123-131. なごや生物多様性保全活動協議会, 名古屋.
- ・田中幸一, 1983. クサグモの天敵 (I) チリイソウロウグモ. 蜘蛛, (17):102-103. 中部蜘蛛談話会.
- ・田中幸一, 1998. チリイソウロウグモの空間分布 -クサグモの網には何頭のイソウロウが寄生しているか-. 蜘蛛, (30):442-444. 中部蜘蛛談話会.
- ・筒井明子・柴田良成, 2012. 夏休み子供観察会. 蜘蛛, (45):1280-1281. 中部蜘蛛談話会.
- ・筒井明子, 2013. 夏休み子供観察会. 蜘蛛, (46):1336. 中部蜘蛛談話会.
- ・東海自然環境調査研究会 (編), 1993. 名古屋市及び近隣に生息する動物に関する調査報告, 174pp. 名古屋市環境保全局環境管理部環境影響評価室, 名古屋.
- ・牛田晴彦, 1971. 名古屋市中村区のクモ. 中部蜘蛛談話会会報, (3):13-15. 中部蜘蛛談話会.
- ・八木沼健夫, 1963. Zoropsidaeのクモ日本のFaunaに入る. *Acta Arachnologica*, 18(1):1-6.
- ・新海栄一・八木沼健夫, 1977. 分布資料. *Atypus*, (69):39. 日本蜘蛛学会.
- ・八木沼健夫, 1986. 原色日本クモ類図鑑, 305pp. 保育社, 大阪.
- ・小野展嗣編, 2009. 日本産クモ類, pp.738. 東海大学出版会, 秦野.
 - ・緒方清人, 2018. クモ編. グリーンデータブックあいち, E1-E24.愛知県環境部自然環境課.
 - ・緒方清人, 2019. 愛知県産クモ類目録と追加種 (X I). 蜘蛛, 52:15-57.
 - ・緒方清人, 2014. 愛知県三河地方におけるセアカゴケグモの現状. 蜘蛛, 47:48-54.
 - ・緒方清人・小笠原幸恵, 1997. 名古屋市の真正クモ類について(3).蜘蛛, 29:18-20.
 - ・新海 明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生, 2018. CD 日本のクモ. 自刊.
 - ・須賀瑛文・緒方清人・柴田良成, 2013. 8クモ類調査, 都市部における生物多様性の保全と外来生物対策事業報告書. なごや生物多様性保全活動協議会, 123-131.
 - ・谷川明男, 2017. 日本産クモ類目録 ver. 2017 R1.

(8) カニ類

- ・天野 勲, 2002. 黒潮と知多半島沿岸のカニ, pp.45,47,63,89,90. 半田市立博物館.
- ・天野 勲, 2008. 第II部第3章7節甲殻類 (カニ類). 新修名古屋市史資料編 自然, pp.337,340,341,342. 名古屋市.
- ・天野 勲, 2008. 第II部第4章代表的な自然環境と生物・庄内川河口. 新修名古屋市史資料編 自然, pp.496-497. 名古屋市.
- ・天野 勲, 2008. 第II部第4章代表的な自然環境と生物4 東谷山 カニ. 新修名古屋市史資料編 自然, p.507. 名古屋市.

- ・天野 勲, 2010. 生物から見た名古屋の自然, pp.98-99,135. 名古屋市.
- ・天野 勲, 2010. 名古屋市の絶滅の恐れのある野生生物 レッドデータブックなごや 2010 -2004年版補遺-, p.171-183. 名古屋市.
- ・池田 等ほか, 2006. 相模湾葉山沖の短尾類相. 国立科学博物館専報, (41):173-182.
- ・市川市・東邦大, 2007. 干潟ウォッチングフィールドガイド, pp.37,136.
- ・伊藤 円, 2004. 静岡県下田市大賀茂川に生息するシオマネキ類について. 日本甲殻類学会第 42 回全国大会報, p.36.
- ・伊藤 円, 2011. 静岡県内でのシオマネキ類の生息状況. 日本甲殻類学会第 49 回大会報, p.44.
- ・大阪府立自然市博物館・大阪自然史センター編, 2008. 干潟を考える 干潟を遊ぶ, pp.33,45,46,105. 東海大学出版会, 秦野.
- ・岡本一利, 2004. モクズガニの種苗生産の現状. 日本甲殻類学会第 42 回大会報, p.14.
- ・小林 哲, 2014. モクズガニの形態の変異と奇形. *CANCER*, (23): 36. 日本甲殻類学会.
- ・小島太一, 2008. アカテガニの産卵における 3 年サイクル. 日本甲殻類学会第 46 回大会報, p.78.
- ・酒井 恒, 1976. 日本産蟹類, pp.419,420. 講談社, 東京.
- ・酒井 恒, 1980. 蟹 その生態と神秘, pp.40-46,218-222. 講談社, 東京.
- ・水産庁, 1998. 日本の希少な野生水生生物に関するデータブック, pp.3-23. (社)日本水産資源保護協会.
- ・富山 実, 1989. 小型底びき網漁獲物から見た伊勢湾内底生生物相. 愛知水試研報, (1):41-47.
- ・中島徳男, 1992. 愛知県三谷港に水揚げされたカニ類の目録とその分布, pp.35-45. 三河生物同好会.
- ・中島徳男, 1997. 三河湾・遠州灘産海産蟹類目録, p.32.
- ・馬場敬次, 1976. アニマ特集 カニの世界・海に育つ河口のカニ, pp.16-19. 平凡社, 東京.
- ・嶺井久勝ほか, 1992. 週刊朝日百科 動物たちの地球 69 無脊椎動物 9 サワガニ・コメツキガニほか, pp.260-261,270-271. 朝日新聞社, 東京.
- ・三輪竜之, 1977. 郷土の化石と貝 -名古屋港及びその周辺を中心として-, pp.24-25.
- ・三宅貞祥, 1998. 日本産かに類の分類目録. 原色日本大型甲殻類図鑑Ⅱ, pp.193-249. 保育社, 大阪.
- ・山崎いづみほか, 2006. モクズガニ属カニ類の遺伝的類縁関係. 日本甲殻類学会第 42 回大会報, p.59.
- ・和田恵次, 2000. 干潟の自然史・砂と泥に生きる動物たち, pp.18-23,58-59,64,66,93-96,98,102-103,158,162. 京都大学出版会, 京都.
- ・渡辺精一ほか, 2006. モクズガニの種内分化. *CANCER*, (15):9-12. 日本甲殻類学会.
- ・渡辺精一ほか, 2007. モクズガニ異所的集団の遺伝的文化. 日本甲殻類学会第 45 回大会報, p.13.

(9) 貝 類

- ・阿部 司・福田 宏, 2010. 絶滅危惧種カワネジガイの岡山県における新産地. *Molluscan Diversity*, 2(2):37-41.
- ・愛知県教育センター, 1967. 愛知の動物, 222pp. 愛知県科学教育センター, 名古屋.
- ・浅香智也・鳥居亮一, 2012. 油ヶ淵とその周辺の用水路の淡水二枚貝(ドブガイ属 *Anodonta*). 碧南海浜水族館年報, (25):36-40.
- ・東 正雄, 1982. 原色日本陸産貝類図鑑, 343 pp. 保育社, 大阪.
- ・藤岡えり子・木村妙子, 2000. 三河湾奥部汐川干潟の 1998 年春期における底生動物相. 豊橋市自然史博物館研究報告, (10):31-39.
- ・福田 宏, 2012. エドガワミズゴマツボ. 日本ベントス学会(編), 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p. 44. 東海大学出版会, 秦野.
- ・福田 宏, 2012. ヒナタムシヤドリカワザンショウ. 日本ベントス学会(編), 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p. 48, 東海大学出版会, 秦野.
- ・福田 宏, 2012. クリイロカワザンショウ. 日本ベントス学会(編), 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p. 46. 東海大学出版会, 秦野.
- ・福田 宏, 2012. ムシロガイ. 日本ベントス学会(編), 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p. 68. 東海大学出版会, 秦野.
- ・福田 宏, 2012. サザナミツボ. 日本ベントス学会(編), 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p. 40. 東海大学出版会, 秦野.
- ・福田 宏, 2012. ツブカワザンショウ. 日本ベントス学会(編), 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p. 48. 東海大学出版会, 秦野.
- ・福田 宏, 2012. ワカウラツボ. 日本ベントス学会(編), 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p. 38. 東海大学出版会, 秦野.
- ・福田 宏, 2012. ヤチヨノハナガイ. 日本ベントス学会(編), 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p. 143. 東海大学出版会, 秦野.
- ・福田 宏, 2012. ヨシダカワザンショウ. 日本ベントス学会(編), 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p. 46. 東海大学出版会, 秦野.
- ・福田 宏・木村昭一, 2012. ヘナタリ. 日本ベントス学会(編), 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p. 29. 東海大学出版会, 秦野.
- ・福田 宏・久保弘文, 2012. スカルミクチキレ. 日本ベントス学会(編), 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p. 88. 東海大学出版会, 秦野.
- ・Fukuda, H. and K. Ekawa, 1997. Description and anatomy of a new species of the Elachisinidae (Caenogastropoda: Rissosoidea) from Japan. *The Yuriyagai*, 5(1/2):69-88.
- ・福田 宏・福田敏一, 1995. 阿知須干拓にコウロエンカワヒバリガイ出現. 山口の自然, (55):16-20.
- ・岐阜県, 2001. 岐阜県の絶滅のおそれのある野生動物, 350pp. 岐阜県健康福祉環境部自然環境森林課, 岐阜.
- ・岐阜市役所自然共生部自然環境課, 2014. 岐阜市の自然情報, 238pp. 岐阜市役所, 岐阜.
- ・蜂矢喜一郎・田中利雄, 1998. 名古屋市南区鶴里町周辺の沖積層の化石. 化石の友, (45):20-25.
- ・原田一夫, 2000. タイワンジジミが愛知県に侵入. かきつばた, (26):10.
- ・早瀬善正, 1998. キヌカツギハマシイノミガイ庄内川河口に生息. かきつばた, (24):12.
- ・早瀬善正, 2001. 知多半島に生息するヒルゲンドルフマイマイ. かきつばた, (27):10-11.
- ・早瀬善正, 2008. 静岡市清水区能島遊水地におけるナガオカモノアラガイの生活史. 兵庫陸水生物, (60):151-157.

- ・早瀬善正・川瀬基弘・木村昭一, 2014. 庄内川河口で確認された名古屋市新記録を含む絶滅危惧貝類5種. かきつばた, (39):31-36.
- ・早瀬善正・木村昭一, 2011. 名古屋港周辺の陸産貝類相, 特に新たな外来移入種メリケンズナガイ (新称) について. ちりぼたん, 41(2):48-59.
- ・早瀬善正・多田 昭, 2005. 愛知県産のピロウドマイマイ属について. かきつばた, (31):8-19.
- ・早瀬善正・多田 昭, 2008. 中部地方に分布するピロウドマイマイ属. かきつばた, (33):17-21.
- ・早瀬善正・多田 昭, 2009. 東北地方に分布するピロウドマイマイ属. かきつばた, (34):14-19.
- ・早瀬善正・多田 昭, 2010. 関東地方に分布するピロウドマイマイ属. かきつばた, (35):19-27.
- ・早瀬善正・種倉俊之・社家間太郎・松永育之・吉川 尚・松浦弘行・石川智士, 2011. 愛知県幡豆町の干潟および岩礁域潮間帯の貝類相. 東海大学海洋研究所研究報告, (32):11-33.
- ・Huber, M., 2010. *Compendium of Bivalves*, 901pp. Conch Books, Hackenheim.
- ・池田 等・倉持卓司・渡辺政美, 2001. 相模湾レッドデータ 貝類-, 104 pp. 葉山しおさい博物館, 神奈川.
- ・河合秀高, 1998. 内湾性稀少種サザナミツボの新産地. かきつばた, (24):16-17.
- ・河合秀高, 2000. 名古屋港浚渫地 (金城埠頭) 産貝類化石 (3) 巻貝 (その2). 化石の友, (47):46-49.
- ・河合秀高, 2009. 名古屋港のサンドポンプで得られた貝. かきつばた, (34):20.
- ・河合秀高・千葉正己, 1996. 名古屋港 13 号地浚渫地より産出した貝類化石 (1) 二枚貝・角貝. 化石の友, (43):21-25.
- ・河合秀高・蜂矢喜一郎, 1999. 名古屋港浚渫地 (金城埠頭) 産貝類化石 (2) 巻貝 (その1). 化石の友, (46):20-25.
- ・川瀬基弘, 2002. 矢作川河口域における干潟の底生生物相. 矢作川研究, (6):81-98.
- ・川瀬基弘, 2006. 矢作川河口域における絶滅のおそれのある貝類. 矢作川研究, (10):75-84.
- ・川瀬基弘, 2010. 3 貝類. なごやため池生きもの生き生き事業報告書, pp.69-72. 名古屋ため池生物多様性保全協議会, 名古屋.
- ・川瀬基弘, 2012. 愛知県豊田市に生息する陸棲軟体動物. 豊田市史研究, (3):57-80.
- ・川瀬基弘, 2012a. 名古屋市内で確認されたシリオレギセルとヒルゲンドルフマイマイ. かきつばた, (37):52.
- ・川瀬基弘, 2012b. 自然豊かな名古屋 41 種の陸貝を発見. 生きものシンフォニー5号. 名古屋生物多様性センター, 名古屋.
- ・川瀬基弘, 2013. 愛知県渥美層群の貝類化石 (速報) ~ 鶴岡修司コレクションの貝類化石 ~. 瀬木学園紀要, (7):38-48.
- ・川瀬基弘, 2013a. なごやで探そう! カタツムリ, 29 pp. 名古屋生物多様性保全活動協議会, 名古屋.
- ・川瀬基弘, 2013b. II-7 なごや生きものの一斉調査 2012・陸貝編. 都市部における生物多様性の保全と外来生物対策事業報告書 (平成 24 年度環境省生物多様性保全推進支援事業), pp.178-213. なごや生物多様性保全活動協議会, 名古屋.
- ・川瀬基弘, 2013c. 名古屋市内でニッポンマイマイを発見. 生きものシンフォニー7号. 名古屋生物多様性センター, 名古屋.
- ・川瀬基弘, 2014. 新都市の軟体動物. 加藤貞亨ほか編. 新都市の自然誌ー昆虫・動物編ー, pp. 1-24. 新都市立鳳来寺山自然科学博物館.
- ・川瀬基弘, 2014. 11 貝類. 岐阜市の自然情報 ~岐阜市自然環境基礎調査~, pp.197-209. 岐阜市役所自然共生部自然環境課, 岐阜.
- ・川瀬基弘・早瀬善正・市原 俊, 2011. 豊田市に生息する淡水産貝類. 陸の水, (48):9-16.
- ・川瀬基弘・早瀬善正・市原 俊, 2011. 愛知県豊田市に生息する陸産貝類. 豊橋市自然史博研報, (21):31-43.
- ・川瀬基弘・市原 俊, 2013. 名古屋市守山区で発見された外来シジミ. かきつばた, (38):63.
- ・川瀬基弘・市原 俊・河合秀高, 2015. 中部更新統渥美層群の軟体動物化石. 瑞浪市化石博物館研究報告, (41): (印刷中).
- ・川瀬基弘・石黒鎌三, 2015. 名古屋市内で再発見されたマルタニシ. なごやの生物多様性, 2: (印刷中).
- ・川瀬基弘・守谷茂樹・石黒鎌三, 2012. (8) 陸産貝類. 熱田神宮の生物調査と外来生物対策. 都市部における生物多様性の保全と外来生物対策事業報告書 (平成 23 年度 生物多様性保全推進支援事業), pp.136-140, なごや生物多様性保全活動協議会, 名古屋.
- ・川瀬基弘・村瀬文好, 2014. 名古屋初記録のヤマタニシとコベソマイマイ. かきつばた, (39):51.
- ・川瀬基弘・村瀬文好・早瀬善正・市原 俊, 2012. 矢作川上中流域の河畔林に生息する陸産貝類. 矢作川研究, (16):11-26.
- ・川瀬基弘・村瀬文好・早瀬善正・市原 俊・森山昭彦・家山博史, 2012. 岐阜市に生息する淡水産貝類. 陸の水, (54):33-42.
- ・川瀬基弘・村瀬文好・早瀬善正・市原 俊・吉村卓也・山内貴司・横山貴則, 2012. 岐阜市に生息する陸産貝類. 瀬木学園紀要, (6):19-36.
- ・川瀬基弘・村瀬文好・高柳茉友子・石黒鎌三, 2014. 9 陸産貝類調査 [II-4 熱田神宮の生物調査と外来生物対策]. 都市部における生物多様性の保全と外来生物対策事業報告書 (平成 25 年度 環境省生物多様性保全推進支援事業), pp.134-143. なごや生物多様性保全活動協議会, 名古屋.
- ・川瀬基弘・西尾和久・市原 俊・村瀬文好, 2013. 名古屋市内に生息する陸産貝類. 瀬木学園紀要, (7):12-17.
- ・川瀬基弘・西尾和久・森山昭彦・市原 俊, 2014. 名古屋市内で発見されたピロウドマイマイ類. なごやの生物多様性, 1:1-14.
- ・川瀬基弘・野呂達哉, 2013. 名古屋市におけるヌマガイとオオタニシの生息状況. かきつばた, (38):56.
- ・川瀬基弘・尾畑 功・市原 俊, 2009. 愛知県藤前干潟に生息する貝類. 豊橋市自然史博研報, (19):11-20.
- ・川瀬基弘・鳥居亮一・市原 俊, 2012. 愛知県矢並湿地に生息するマメシジミ類. 平成 23 年度豊田市自然観察の森年次報告書, pp.223-225. 豊田市自然観察の森, 豊田.
- ・川瀬基弘・梅村麻希・八木明彦, 2009. 干潟に生息する二枚貝類の炭素・窒素除去. 第 8 回 海環境と生物および沿岸環境修復技術に関するシンポジウム 発表論文集, pp.67-72. 海底環境研究会, 静岡.
- ・紀平 肇, 1990. 琵琶湖淀川淡水貝類, 131pp. たたら書房, 鳥取.
- ・紀平 肇・松田征也・内山りゅう, 2003. 日本産淡水貝類図鑑①琵琶湖・淀川産の淡水貝類, 159 pp. ピーシーズ, 東京.
- ・木村昭一, 1987. ワカウラツボを有明海にて採集. 南紀生物, 29(2):95.

- ・木村昭一, 1989. ワカウラツボを汐川干潟(三河湾)にて採集. 南紀生物, 31(2):130-131.
- ・木村昭一, 1994. 東海地方の淡水貝類相. 研究彙報, (33):14-34. 全国高等学校水産教育研究会.
- ・木村昭一, 1996. ドレヅジによって採集された日間賀島南部海域の底生動物. 研究彙報, (35):3-19. 全国高等学校水産教育研究会.
- ・木村昭一, 1999. 佐奈川河口域観察会報告. かきつばた, (25):14-17.
- ・木村昭一, 2000. 伊勢湾・三河湾でドレヅジによって採集された貝類(予報). かきつばた, (26):18-20.
- ・木村昭一, 2001. 藤前干潟で採集されたワカウラツボ. かきつばた, (27):14-16.
- ・木村昭一, 2002. 豊田市におけるカネツケシジミの繁殖例. かきつばた, (28):18-19.
- ・木村昭一, 2002. 熱田神宮の貝類相. かきつばた, (28):24-25.
- ・木村昭一, 2004. ⑧貝類. 名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックなごや 2004 -動物編-. pp.263-292. 名古屋市環境局環境都市推進部環境影響評価室, 名古屋.
- ・木村昭一, 2004. 蒲郡市三谷町人工干潟の貝類相. かきつばた, (30):14-20.
- ・木村昭一, 2004. 名古屋市より採集されたフトヘナタリの生貝. かきつばた, (30):34-35.
- ・木村昭一, 2005. 蒲郡市三谷町人工干潟の貝類相 続報. かきつばた, (31):29-31.
- ・木村昭一, 2010. コラム: 庄内川河口のヨシ原湿地の貝類とその保全. 生き物から見た名古屋の自然 なごやの環境指標種 100 (改訂版), pp.102-103. 三菱 UFJ 環境財団, 東京.
- ・木村昭一, 2012. 矢作川ヨシ原塩性湿地の貝類相. 三河生物, 3:1-8,2pls. 西三河生物研究会.
- ・木村昭一, 2012. ヒメマスオガイ. 日本ベントス学会編, 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p.166. 東海大学出版会, 秦野.
- ・木村昭一, 2012. クシケマスオガイ. 日本ベントス学会編, 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p.166. 東海大学出版会, 秦野.
- ・木村昭一, 2012. クレハガイ. 日本ベントス学会編, 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p.62. 東海大学出版会, 秦野.
- ・木村昭一, 2012. ナラビオカミミガイ. 日本ベントス学会編, 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p.92. 東海大学出版会, 秦野.
- ・木村昭一, 2012. オカミミガイ. 日本ベントス学会編, 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p.95. 東海大学出版会, 秦野.
- ・木村昭一, 2012. サクラガイ. 日本ベントス学会編, 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p.126. 東海大学出版会, 秦野.
- ・木村昭一, 2012. セキモリ. 日本ベントス学会編, 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p.63. 東海大学出版会, 秦野.
- ・木村昭一, 2012. ウラカガミ. 日本ベントス学会編, 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p.149. 東海大学出版会, 秦野.
- ・木村昭一, 2012. ユウシオガイ. 日本ベントス学会編, 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p.126. 東海大学出版会, 秦野.
- ・木村昭一・福田 宏, 2012. フトヘナタリ. 日本ベントス学会編, 干潟の絶滅危惧動物図鑑. p.29. 東海大学出版会, 秦野.
- ・木村昭一・福田 宏, 2012. イボウミニナ. 日本ベントス学会編, 干潟の絶滅危惧動物図鑑. p. 31. 東海大学出版会, 秦野.
- ・木村昭一・福田 宏, 2012. カワアイ. 日本ベントス学会編, 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p.30. 東海大学出版会, 秦野.
- ・木村昭一・福田 宏, 2012. オリイレボラ. 日本ベントス学会編, 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p.74. 東海大学出版会, 秦野.
- ・木村昭一・福田 宏, 2012. ウミニナ. 日本ベントス学会編, 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p.31. 東海大学出版会, 秦野.
- ・木村昭一・木村妙子, 1999. 三河湾及び伊勢湾河口域におけるアシ原湿地の腹足類相. 日本ベントス学会誌, 54:44-56.
- ・木村昭一・木村妙子, 2002. 新堀川河口塩性湿地の貝類相. かきつばた, (28):13-14.
- ・木村昭一・山本妙子, 1990. マゴコロガイを伊勢湾で採集. ちりぼたん, 21(1/2):12-13.
- ・木村昭一・山下博由, 2012. イボキサゴ. 日本ベントス学会編, 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p.17. 東海大学出版会, 秦野.
- ・木村昭一・山下博由, 2012. マゴコロガイ. 日本ベントス学会編, 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p.162. 東海大学出版会, 秦野.
- ・木村昭一・山下博由, 2012. オオノガイ. 日本ベントス学会編, 干潟の絶滅危惧動物図鑑, p.167. 東海大学出版会, 秦野.
- ・近藤高貴, 2008. 日本産イシガイ目貝類図譜 日本貝類学会特別出版物第3号, 69 pp. 日本貝類学会, 東京.
- ・黒田徳米, 1963. 日本非海産貝類目録, 71pp. 日本貝類学会, 東京.
- ・黒住耐二, 2000. 貝類. 千葉県保護上重要な野生生物 -千葉県レッドデータブック- 動物編, pp.359-399. 千葉県環境部自然保護課, 千葉.
- ・増田 修, 2005. カワネジガイ. 環境省(編), 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 -レッドデータブック- 6陸・淡水産貝類, p.79. 自然環境研究センター, 東京.
- ・増田 修, 2005. マメタニシ. 環境省(編), 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 -レッドデータブック- 6陸・淡水産貝類, p.317. 自然環境研究センター, 東京.
- ・増田 修, 2005. モノアラガイ. 環境省(編), 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 -レッドデータブック- 6陸・淡水産貝類, p.320. 自然環境研究センター, 東京.
- ・増田 修・内山りゅう, 2004. 日本産淡水貝類図鑑②汽水域を含む全国の淡水貝類, 240pp. ピーシーズ, 東京.
- ・松岡敬二・木村妙子・木村昭一・三谷水産高等学校増殖部・山口啓子・高安克己, 1999. 豊川下流域の貝類相. 豊橋市自然史博物館研究報告, (9):15-24.
- ・三浦知之, 2008. 干潟の生き物図鑑, 197pp. 南方新社, 鹿児島.
- ・Mori, S., 1938. Classification of Japanese *Pisidium*. *Memoirs of the College of Science, Kyoto Imperial University, Series B*, 14(2):254-278, pls.7-11.
- ・Mori, S., 1938. Classification of the Japanese *Planorbidae*. *Memoirs of the College of Science, Kyoto Imperial University, Series B*, 14(2):279-300, pls.12-18.
- ・守谷茂樹, 2004. 名古屋市内の陸貝の現況. かきつばた, (29):25-31.
- ・守谷茂樹, 2004. 名古屋市の陸貝の現況 補足その1 (熱田神宮). かきつばた, (30):23-26.
- ・名古屋市動植物実態調査検討会(監), 2004. レッドデータブックなごや 2004 -動物編-, 368pp. 名古屋市環境局環境都市推進部環境影響評価室, 名古屋市.

- ・名古屋市動植物実態調査検討会（監），2010. レッドデータブックなごや2010 -2004年版補遺-，316pp. 名古屋市環境局環境都市推進部生物多様性企画室，名古屋市.
- ・中山 清，1980. 知多湾南部海域の貝類相. かきつばた，(6):10-12.
- ・中山修一，1978. 名古屋貝類談話会第7回淡水貝観察調査会の記. かきつばた，(4):4-5.
- ・日本ベントス学会（編），2012. 干潟の絶滅危惧動物図鑑—海岸ベントスのレッドデータブック，284pp. 東海大学出版会，秦野.
- ・日本水産資源保護協会，1995. 軟体動物. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料（II），131pp.
- ・日本水産資源保護協会，1996. 軟体動物. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料（III），90pp.
- ・日本水産資源保護協会，1997. 軟体動物. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料（IV），126pp.
- ・西 浩孝，2010. 三河湾で絶滅危惧種の二枚貝ウミタケの生息を確認. 豊橋市自然史博物館研究報告，(20):15-17.
- ・野々部良一・高桑 弘・原田一夫，1984. 陸産貝類. 佐藤正孝・安藤 尚編，愛知の動物，pp.23-40. 愛知県郷土資料刊行会，名古屋.
- ・奥谷喬司（編），2000. 日本近海産貝類図鑑，1173pp. 東海大学出版会，秦野.
- ・西條八束・寺井久慈・永野真理子・鮎川和泰・八木明彦・梅村麻希・加藤義久・川瀬基弘・佐々木克之・松川康夫，2008. 中部国際空港島建設による水質，底質，底生生物群集の劣化. 海の研究，17(4):281-295.
- ・西條八束・八木明彦・梅村麻希・寺井久慈・川瀬基弘・松川康夫・佐々木克之，2004. 中部空港島周辺における底質・底生動物を中心とした水域環境変化に関する研究. プロ・ナトゥーラ・ファンド第13期助成成果報告書，3-16.
- ・酒井 類，2002. 名古屋市守山区の淡水産貝類. かきつばた，(28):15-17.
- ・佐藤正典（編），2000. 有明海の生きものたち，396pp. 海遊舎，東京.
- ・水産庁・日本水産資源保護協会，1994. 軟体動物. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料（I），123pp.
- ・鈴木尊仁・井上恵介・小澤智生，2006. 伊勢湾・三河湾における1960年代以降の環境劣化と潮間帯軟体動物相の変化. 名古屋大学博物館報告，(22):31-64.
- ・鈴木孝男・木村昭一・木村妙子，2009. 干潟生物調査ガイドブック～東日本編～，120pp. 日本国際湿地保全連合，東京.
- ・鈴木孝男・木村昭一・木村妙子・森 敬介・多留聖典，2013. 干潟生物調査ガイドブック～全国版（南西諸島を除く）～，269pp. 日本国際湿地保全連合，東京.
- ・庄司幸八，1938. 珍しい共棲二枚貝マゴコロ貝. *Venus*，8(3/4):119-127.
- ・田部雅昭・福原修一・長田芳和，1994. 淡水産二枚貝ドブガイに見られる遺伝的II型. *Venus*，53(1):29-35.
- ・多田 昭，2005. 中国地方産ピロウドマイマイ属貝類. まいご，(13):12-25.
- ・高柳菜友子，2014. 矢作川上中流域に生息する淡水産貝類. 矢作川研究，(18):5-11.
- ・田中守彦，1959. 愛知県産淡水産貝類目録，14pp. (謄写).
- ・田中利雄・河合秀高，1998. 愛知県渥美半島西ノ浜の打上げ貝. 豊橋市自然史博物館研究報告，(8):33-36.
- ・鳥居亮一・浅香智也・荒尾一樹・川瀬基弘，2012. 矢作川下流域における魚類と甲殻類十脚目を中心とした生物種の記録. 三河生物，3:9-49.
- ・Umemura, M. and A. Yagi，2006. Changes in Nitrous oxide, DOC and Methane in the interstitial Water of Fujimae Tidal-Flat. *Verhandlungen IVL*，29(3):1228-1234.
- ・和田恵次・西平守孝・風呂田利夫・野島 哲・山西良平・西川輝昭・五島聖治・鈴木孝男・加藤 真・島村賢正・福田 宏，1996. 日本の干潟海岸とそこに生息する底生動物の現状. WWF Japan Science Report 3，182pp. 世界自然保護基金日本委員会，東京.
- ・八木明彦・大八木麻希・川瀬基弘・横山亜希子，2014. 藤前干潟の底泥・海水における炭素・窒素の除去—潮溜まり・底泥間隙水・二枚貝中心として—. 陸の水，(64):1-9.
- ・山田充哉・石橋亮・河村功一・古丸 明，2010. ミトコンドリア DNA のチトクローム b 塩基配列および形態から見た日本に分布するマジミ，タイワンマジミの類縁関係. 日本水産学会誌，76(5):926-932.
- ・山本茂雄編，2007. 海のふれ健康診断報告書，90pp. 伊勢・三河湾流域ネットワーク山川里海 22 海の健康診断手法開発チーム，名古屋.
- ・山下博由，2012. アゲマキ. 日本ベントス学会編，干潟の絶滅危惧動物図鑑，p.172. 東海大学出版会，秦野.
- ・山下博由，2012. ハイガイ. 日本ベントス学会編，干潟の絶滅危惧動物図鑑，p.110. 東海大学出版会，秦野.
- ・山下博由，2012. ハナグモリ. 日本ベントス学会編，干潟の絶滅危惧動物図鑑，p.139. 東海大学出版会，秦野.
- ・山下博由，2012. イセシラガイ. 日本ベントス学会編，干潟の絶滅危惧動物図鑑，p.116. 東海大学出版会，秦野.
- ・山下博由・木村昭一，2012. イチョウシラトリ. 日本ベントス学会編，干潟の絶滅危惧動物図鑑，p.129. 東海大学出版会，秦野.
- ・山下博由・木村昭一，2012. タイラギ. 日本ベントス学会編，干潟の絶滅危惧動物図鑑，p.114. 東海大学出版会，秦野.
- ・山下博由・木村昭一，2012. ウミタケ. 日本ベントス学会編，干潟の絶滅危惧動物図鑑，p.166. 東海大学出版会，秦野.
- ・Yamasita, H., M. Okamoto, M. Harato and H. Fukuda，1997. The present status and conservation values of endangered mollusks in tidal flats and estuaries of Japan -1. *Tellina (Serratina) capsoides* (Bivalvia: Veneroida: Tellinidae). *The Yuriyagai*，5(1/2):101-116.
- ・川瀬基弘，2012. 名古屋市内で確認されたシリオレギセルとヒルゲンドルフマイマイ. かきつばた，(37): 52.
- ・川瀬基弘，2013. なごや生きもの一斉調査2012・陸貝編—なごやで探そう！カタツムリ—報告書. 29 pp, 名古屋生物多様性保全活動協議会，名古屋.
- ・川瀬基弘，2018a. なごや生きもの一斉調査・2017～なごやで探そう！水の中の妖精～淡水貝編 報告書，40 pp. なごや生物多

様性保全活動協議会, 名古屋.

- ・川瀬基弘, 2018b. 滅びゆく愛知県の淡水産貝類—鳳来寺山自然科学博物館所蔵の淡水貝標本—. 鳳来寺山自然科学博物館館報, 47: 41-46.
- ・川瀬基弘, 2018c. 名古屋市内から絶滅したモノアラガイ *Radix auricularia japonica* Jay, 1857. なごやの生物多様性, 5: 27-31.
- ・川瀬基弘・市原 俊・寺本匡寛・鶴飼 普, 2018. 名古屋市の淡水産貝類. なごやの生物多様性, 5: 33-45.
- ・川瀬基弘・村松正雄・横井敦史・市原 俊, 2020. 名古屋市守山区～尾張旭市北部に分布する溜池群の淡水産貝類. なごやの生物多様性, 7: (印刷中)
- ・川瀬基弘・西尾和久・森山昭彦・市原 俊, 2014. 名古屋市中で発見されたピロウドマイマイ類. なごやの生物多様性, 1: 1-14.
- ・木村昭一・木村妙子・村山 椋, 2019. 愛知県(伊勢湾)で初めて生息が確認されたクリイロコミミガイ. かきつばた, 44: 40-43.
- ・名古屋市動植物実態調査検討会, 2004. 名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物, レッドデータブックなごや2004—動物編—, 368pp, 名古屋市環境局環境都市推進部環境影響評価室, 名古屋.
- ・名古屋市動植物実態調査検討会, 2010. 名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物, レッドデータブックなごや2010—2004年版補遺—, 316pp, 名古屋市環境局環境都市推進部生物多様性企画室, 名古屋.
- ・名古屋市環境局環境企画部環境活動推進課, 2015. 名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物, レッドデータブックなごや2015—動物編—, 504pp, 名古屋市環境局環境企画部環境活動推進課, 名古屋.
- ・田中守彦, 1959. 愛知県産淡水産貝類目録(謄写版). 14 pp.
- ・田中守彦, 1964. 名古屋市産淡水産貝類の研究(謄写版). 20 pp.
- ・Umemura, M. and Yagi, A., 2006. Changes in Nitrous oxide, DOC and Methane in the interstitial Water of Fujimae Tidal-Flat. Verhandlungen IVL, 29(3): 1228-1234.

5. 作成協力者

レッドデータブックの作成に当たりましては、以下の方々に現地調査、執筆、写真の提供等に協力していただきました。また、敬称は略させていただきました。

【執筆者】

① 哺乳類

野呂達哉

② 鳥類

小笠原昭夫、金澤 智

③ は虫類

矢部 隆

④ 両生類

藤谷武史

④ 魚類

浅香智也、荒尾一樹、大仲知樹、谷口義則、地村佳純、鳥居亮一、向井貴彦

⑥ 昆虫類

岡田正哉、佐藤正孝、高崎保郎、田中多喜彦、戸田尚希、長谷川道明、水野利彦、矢崎充彦

⑦ クモ類

緒方清人

⑧ カニ類

天野 勲、中島清徳

⑨ 貝類

川瀬基弘、木村昭一、横井敦史

【現地調査、写真の提供等に協力していただいた方】

① 哺乳類

石原則義、宇地原永吉、梅本洋子、小野知洋、加藤俊紀、鬼頭 保、小島盛夫、酒井正二郎、曾根啓子、高木和彦、丹井 隆、寺西敏夫、研谷 厚、富田啓介、名和 明、野呂達哉、吉田耕治、吉村文孝、なごや生物多様性保全活動協議会、名古屋産業大学長谷川研究室、名古屋大学未来材料・システム研究所林研究室、名城大学農学部環境動物学研究室、名城大学野生動物生態研究会

② 鳥類

小笠原昭夫、後藤弘行、近藤 孝、佐藤武男、芝原隆男、前田 崇、森井俊雄、森井豊久、矢田和子

③ は虫類

石原則義、鵜飼 普、宇地原永吉、大矢美紀、鬼頭保、研谷 厚、中西佃夫、野呂達哉、堀田 守、矢部 隆

④ 両生類

瀧川正子、佐藤利行、白谷由紀子、柴田美子、岩本やよい、水谷泰通、山下紀雄、山田律子、梅本洋子、榑川菊蔵、島田知彦、大竹 勝、高木雅紀、森 功一、田中理映子、野呂達哉、熊澤慶伯、藤谷武史

名古屋市立大学システム自然科学研究科、藤原ナチュラルヒストリー振興財団、名古屋市東山動植物園、名古屋市立丸の内中学校、長久手市役所

⑤ 魚 類

浅香智也、荒尾一樹、宇治原永吉、大仲知樹、大矢美紀、國村恵子、瀬能宏、谷口義則、地村佳純、鳥居亮一、野呂達哉、古橋 芽、間野静雄、向井貴彦、淀 太我
神奈川県立生命の星・地球博物館、碧南海浜水族館、名城大学理工学部環境創造学科谷口研究室

⑥ 昆虫類

安藤 尚、安藤泰樹、鵜殿清文、岡田正哉（故人）、佐藤正孝（故人）、清水典之、高崎保郎、田中多喜彦（故人）、戸田尚希、長谷川道明、福住和也、水野利彦、矢崎充彦、山本雅人、横地鋭典

⑦ クモ類

家股幸子、緒方清人、柴田良成、須賀瑛文、筒井明子、中根翼
熱田神宮、名古屋城管理事務所

⑧ カニ類

天野 勲、池田 等、井谷雅治、太田 馨、木村昭一、鈴木真悠

⑨ 貝 類

横井敦史、大矢美紀、鵜飼 普、西尾和久、松原美恵子、木村昭一、寺本匡寛、浅香智也、鳥居亮一、酒井 類、森山昭彦、市原 俊、石黒鎌三、熊澤慶伯、河辺訓受、守谷茂樹、緒方清人、野呂達哉、井上恵介、早瀬善正、宇地原永吉、森川晴つみ、長野宏佑、鳳来寺山自然科学博物館、名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科附属生物多様性研究センター、I F F 東海、名古屋貝類談話会、なごや生物多様性保全活動協議会